

令和4年度版

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

調査対象者別



中高次世代議会
(令和4年12月26日 開催)



神石高原町教育委員会

目 次

調 査 対 象 者 別

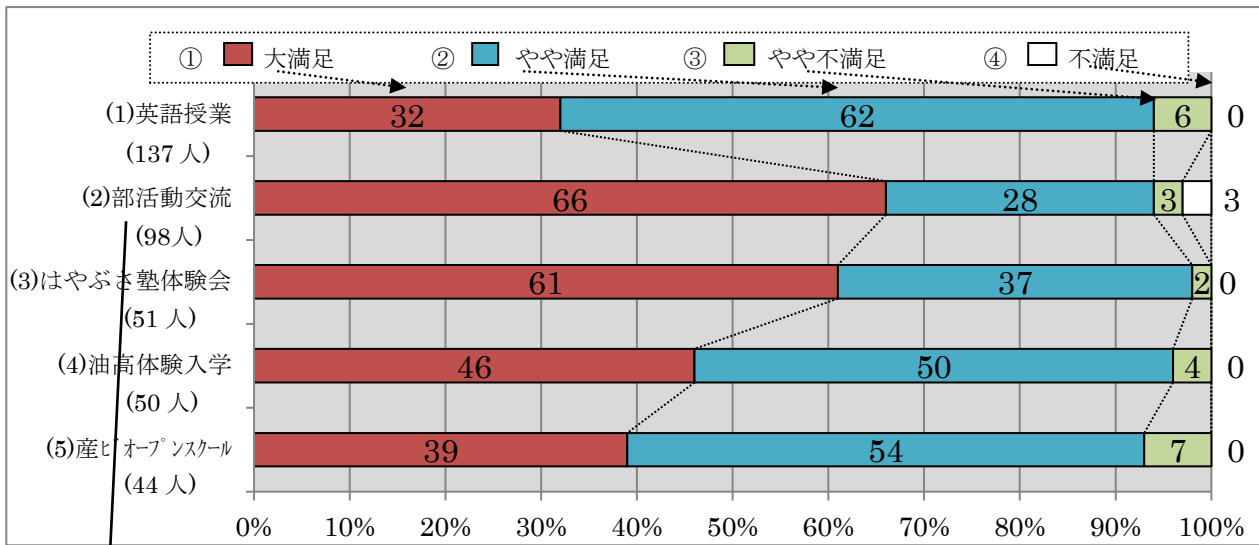
	ページ
1. 中学生 編	1 ~ 9
2. 高校生 編	10 ~ 19
3. 中・高教職員 編	20 ~ 22
4. 小・中保護者 編	23 ~ 29
5. 地域 編	30 ~ 31

回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>153人</u> / 在籍者数	163人
2. 高 校 生	回答者数 <u>144人</u> / 在籍者数	167人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>56人</u> / 全教職員数	56人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>134人</u> / 対象児童数	163人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>136人</u> / 生徒総数	163人
6. 地 域	回答者数 <u>81人</u> / 質問者数	101人

1. 町内中学生 に係るアンケート調査の結果と考察

1 本年度、油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、行事に参加したことがある人は、下の該当する項目について、その感想を教えてください。

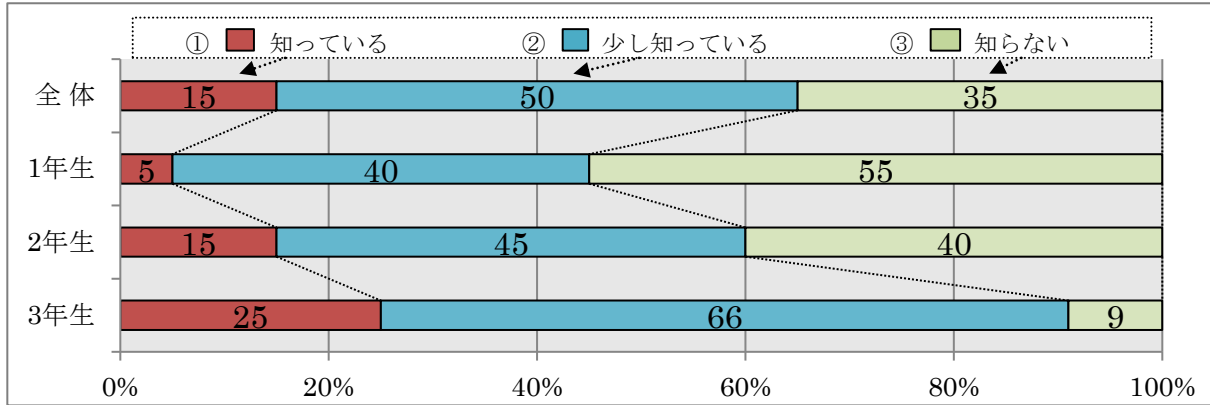


<部活動交流> 卓球 (三中：6人+神中：13人), バレー (12+11), ソフトテニス (6+11), 野球 (3+1), 陸上(7+0), 吹奏楽部 (7+7), 美術部 (1+1), 剣道 (5+0)

考察 全ての項目において生徒の受け止めは肯定的評価「大満足・やや満足」が90%以上を占め、大変高い評価である。その中で、交流授業で実施している英語の「大満足」度は一番低く、中高教職員のアンケート調査においても教育効果はあまり感じておられないようである。「大変効果がある」中学：30%、高校：19% この交流授業は連携型中高一貫教育校では欠かせない実践項目だけに、今後、町研教科部会等で授業交流・授業研究などしながら有効策を追究していく必要があると思われる。

2 神石高原町では「油木高校の魅力づくり」として、色々な支援（部活動遠征費補助・学習支援塾「はやぶさ塾」&「神ゼミ」の開設・外部人材（講師・サポーター）の活用・海外<短期・長期>研修事業への支援・各種検定受験料の補助）などを実施していますが、そのことについて次の質問に教えてください。

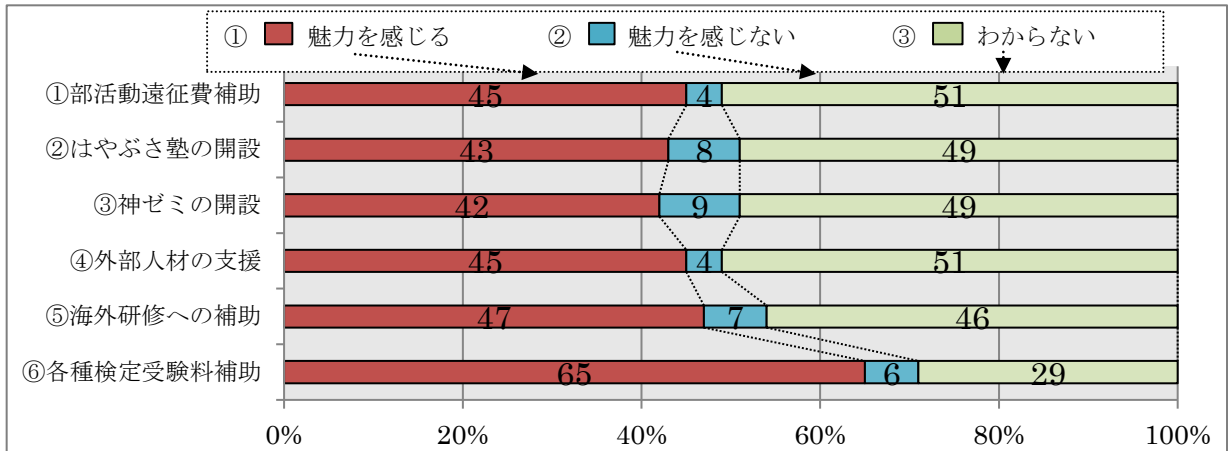
(1) 油木高校への色々な支援内容について知っていますか。



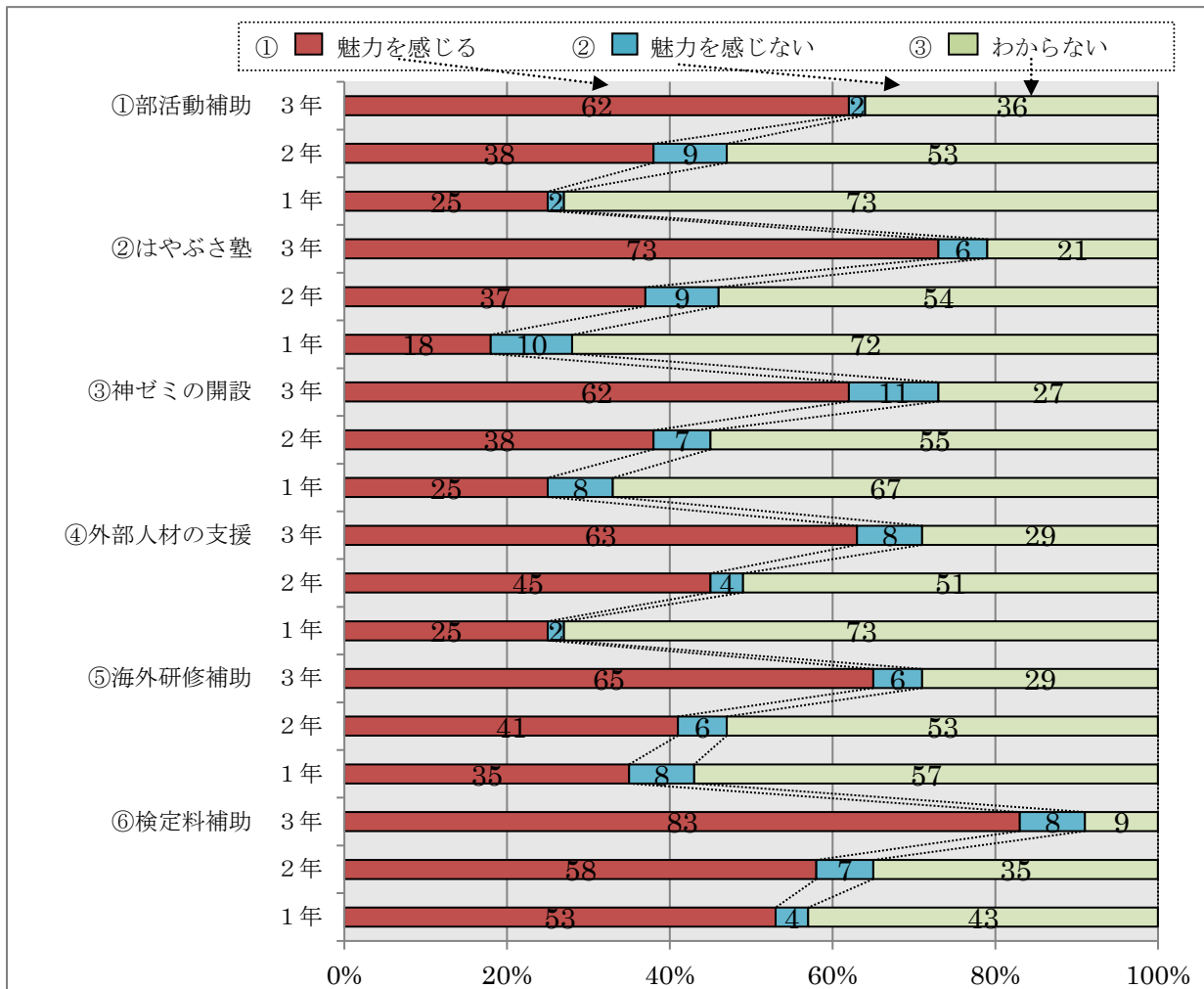
考察 ・支援内容の認知度は、3年生の「知っている」25%が一番多く、「少し知っている」を合わせると91%と非常に高い認知度である。これは、全中学生へのリーフレットの配布や中3生の進路説明会で「町からの支援内容」の説明時間を頂いていることも影響していると思われる。今後も引き続きよろしくお願い致します。

(2) 次のような支援（①部活動遠征費補助 ②はやぶさ塾の開設 ③海外短期・長期研修への支援 ④各種検定受験料の補助）についてどう思いますか。

< 2校全体では >



< 学年別では >

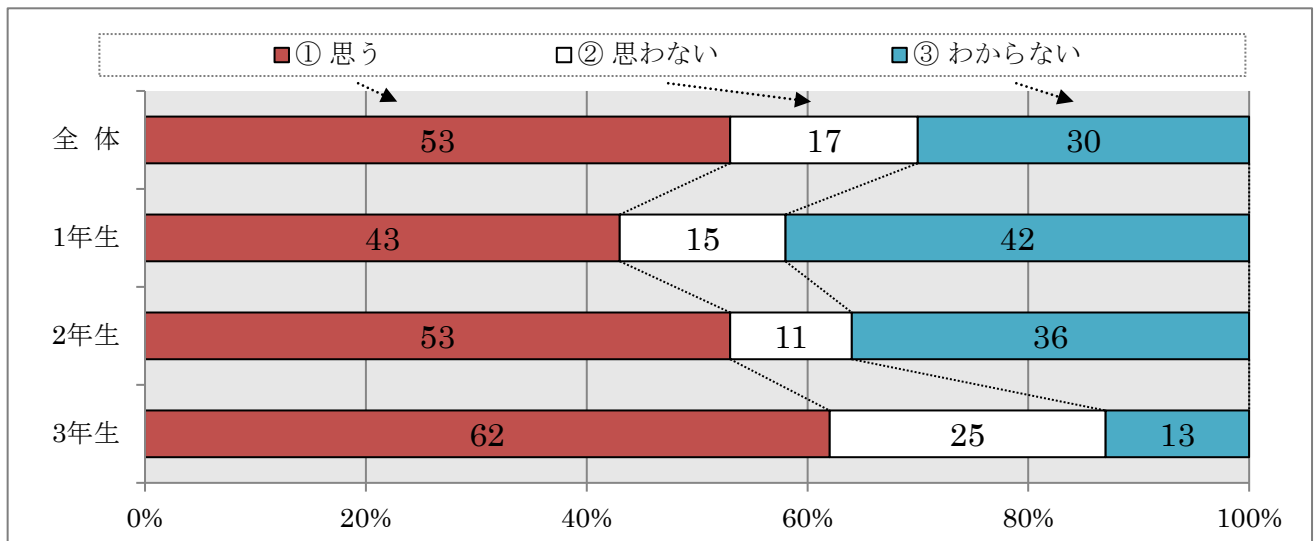


考察 ・2校全体では、「魅力を感じる」が50%以上のものは、これまでは殆どどの項目であったが、本年度は「各種検定受験料の補助」（65%）の1項目だけであった。

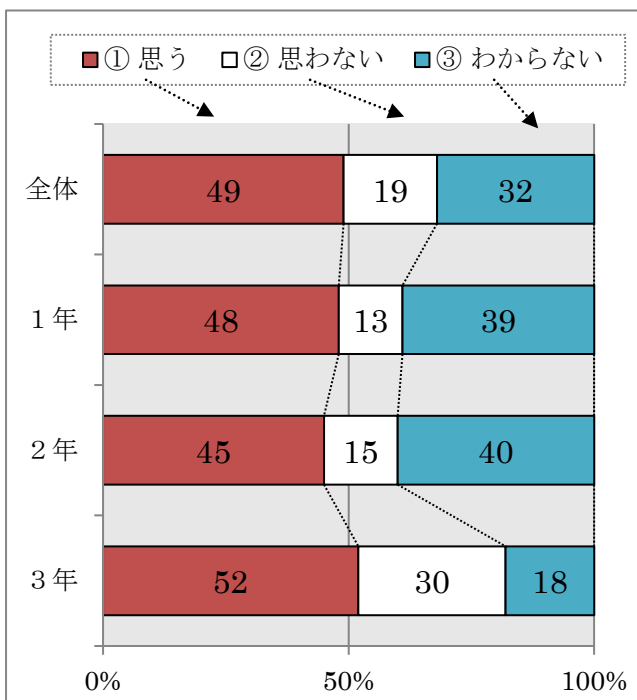
・学年別では、いずれの項目も3年生の評価が一番高く、どの項目も60%以上「魅力を感じる」と回答しており、今後もこのような支援は必要と思われる。

③ (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

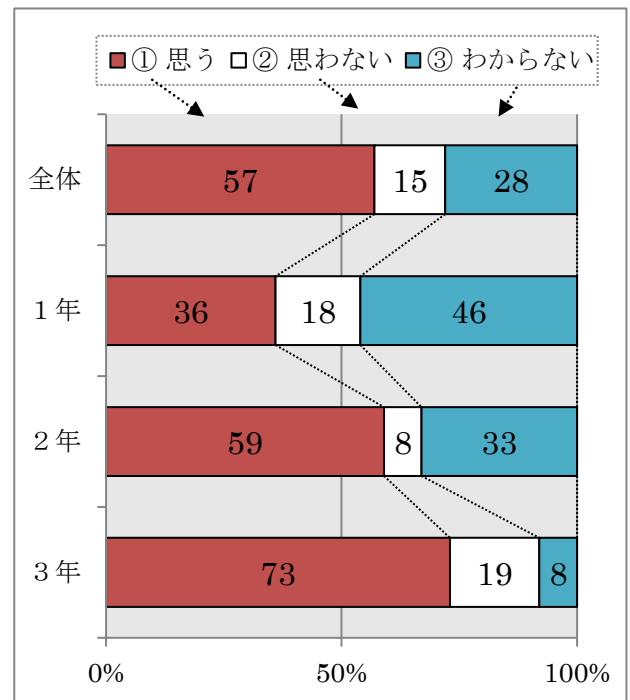
< 2校全体では >



< 三和中 >



< 神石高原中 >



考察 ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は53%（前年55%、前々年46%）で、昨年に引き続き50%以上である。今後生徒数が減少傾向にあるだけに50%以上を確保していく必要がある。

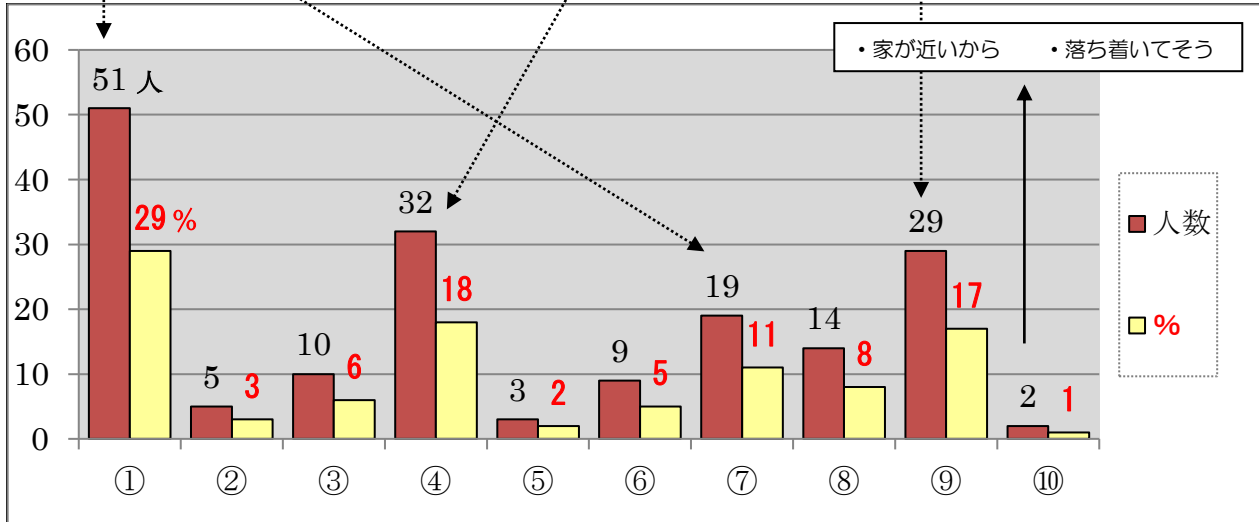
・全体の学年別でも、3年生の「思う」が62%で一番高く（R3年66%、R2年61%、R1年61%）、一つの目標数値である60%以上をクリアが続いている。また、経年比較でみると（昨年度の1年生49%→本年度の2年生53%、昨年度の2年生48%→本年度の3年生62%）というように年々増加傾向になっている。これは、学校現場の取組みと地域あがての取組みの成果なり効果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校へ進学したいと思う」率は3年生が一番高く50%以上を占めている。このことは連携型中高一貫教育校を維持して行く為には大変重要なことで、今後もこの数値（50%以上）は気にしていく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「①（油木高校へ進学したいと）思う」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中
選んでください。（複数回答可）

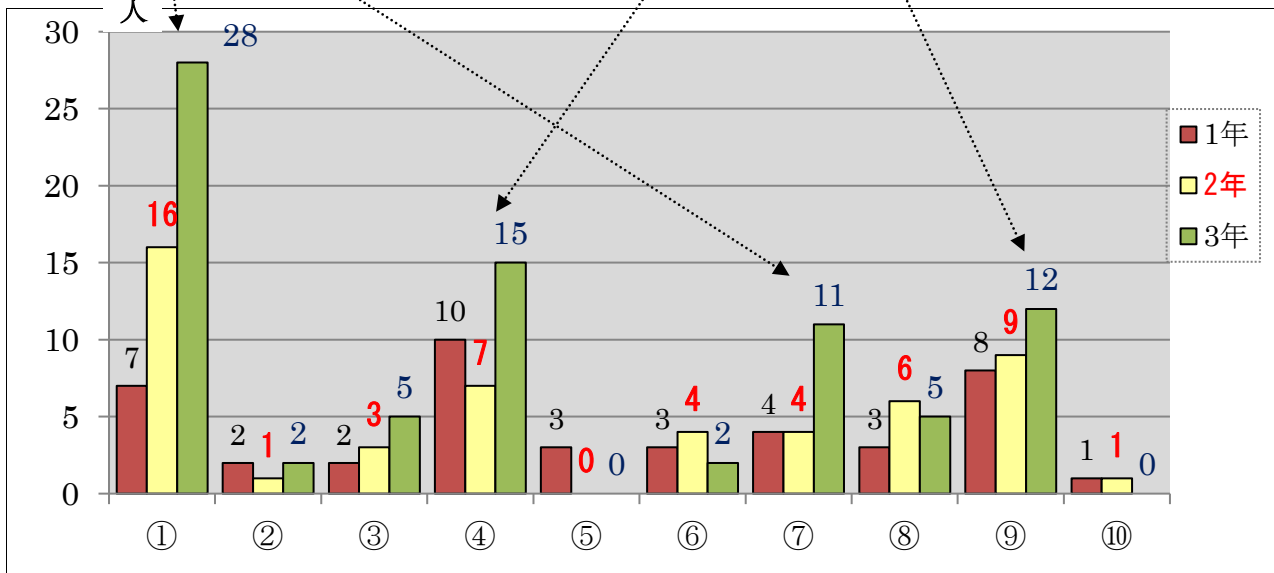
- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の等の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利 ② 進路実績 ③ 教育内容面 ④ クラブ活動面 ⑤ 寮がある ⑥ 施設設備がよい
⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等）がある ⑧ 親・家族の薦め ⑨ 友人関係 ⑩ その他



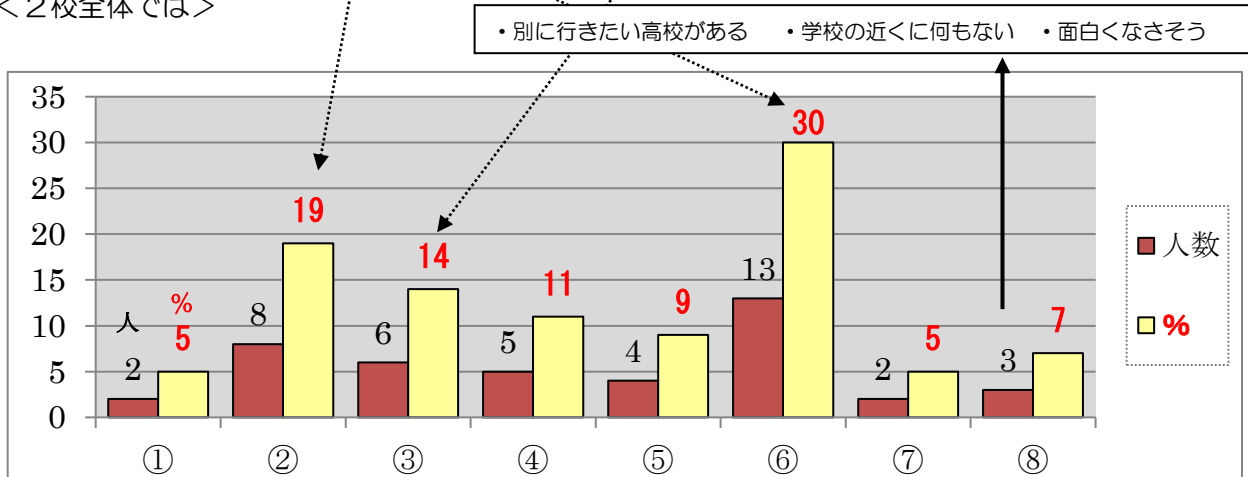
考察 ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利（29%）、2位：④ クラブ活動（18%）、3位：⑦ 友人関係（17%）、4位：町の支援（11%）である。

・学年別で特徴的なものとしては、概してどの項目においても3年生が油木高校の良さを多く感じている。これは、3年生が油木高校体験入学や学校説明会などを通して多方面にわたって油木高校の良さを感じているものと思われる。

(3) 3(1)の質問で「②（油木高校へ進学したいと） 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。（複数回答可）

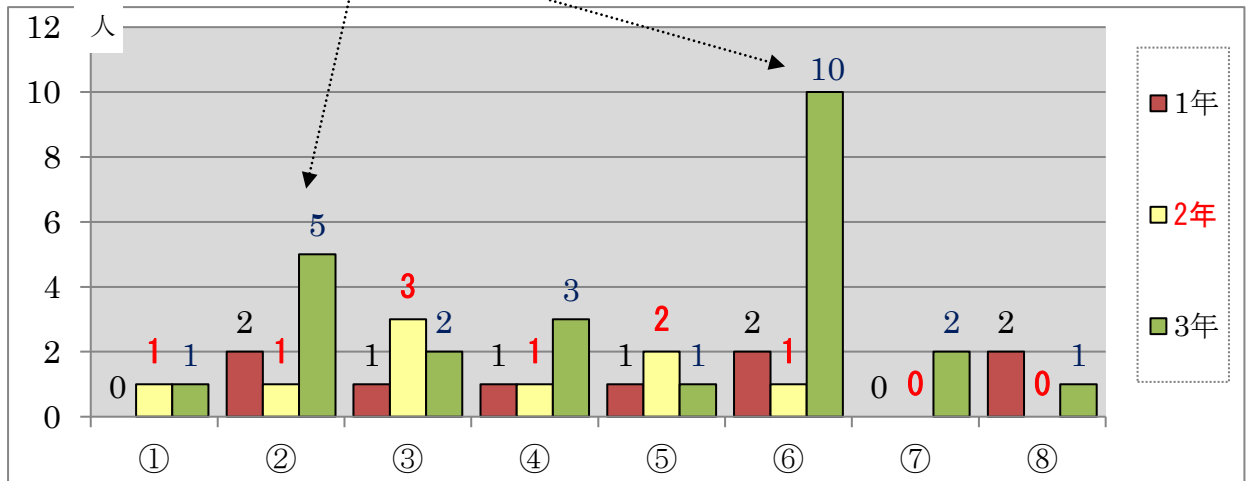
- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |

<2校全体では>



<学年別の人数では>

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便 | ② 教育内容面 | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係 | ⑧ その他 |



考察 ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(30%)、2位：②「教育内容面」(19%) 3位：③「クラブ活動面」(14%)、となっており、例年とあまり差異はない。

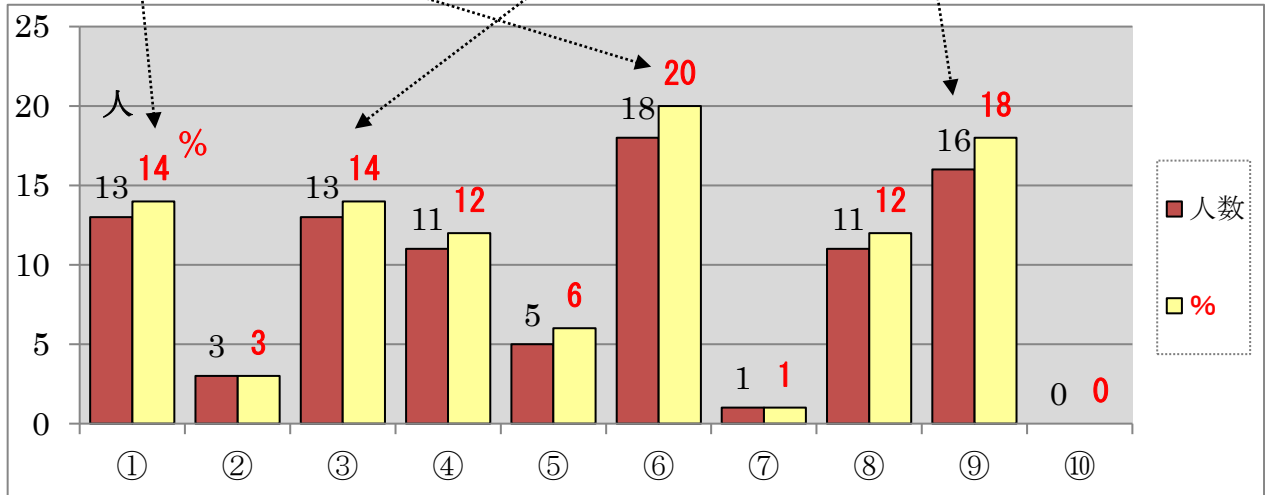
・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、ダントツ⑥「高卒後の進路面」が多い。それだけに町内中学校での進路説明会時に油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上でしっかりと紹介していくことも必要である。

● 各中学校において、油木高校生（特に出身中学生）が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語り頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会（例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など）が持てれば、大変効果があると思われる。←（高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく）

(4) 3(1)の質問で「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択する（高校を選ぶ）上で、重要視したいことはどんなことですか。 下記の①～⑩の中から重要視したいものを2つ選び、番号で教えてください。

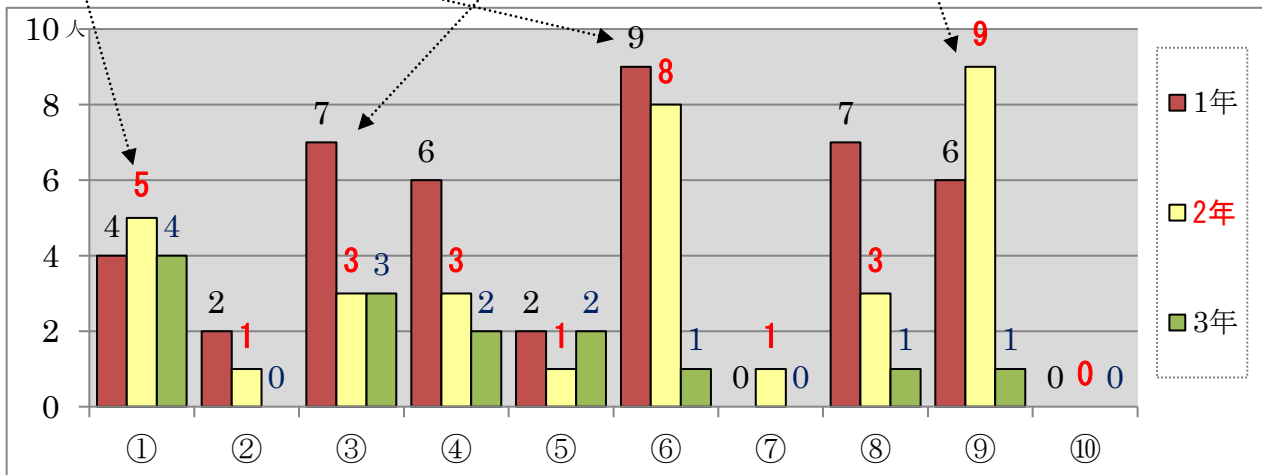
- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

<2校全体では>



- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 進路実績 ④ 教育内容面 ⑤ 施設設備面
 ⑥ クラブ活動面 ⑦ 市町からの色々な支援制度 ⑧ 親や家族のすすめ ⑨ 友人関係 ⑩ その他

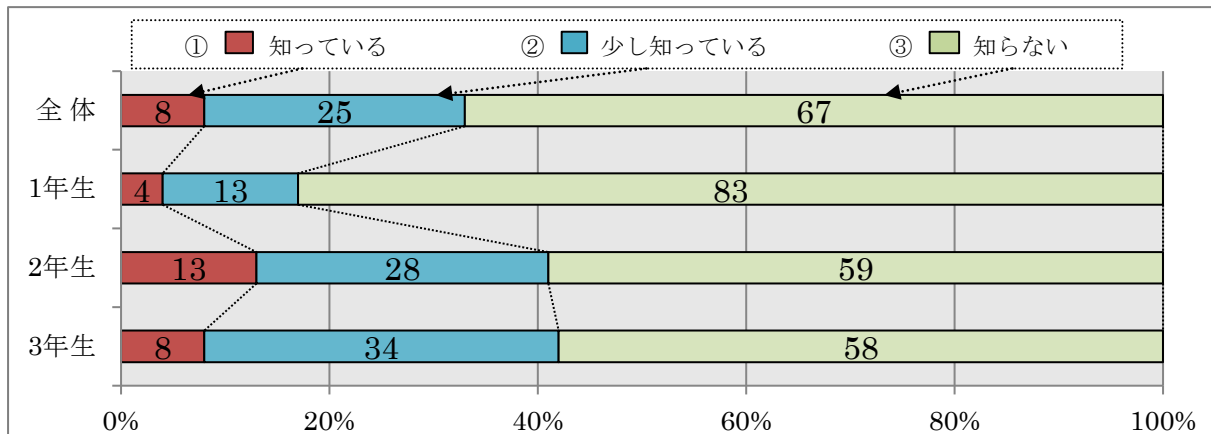
<各学年別の人数では>



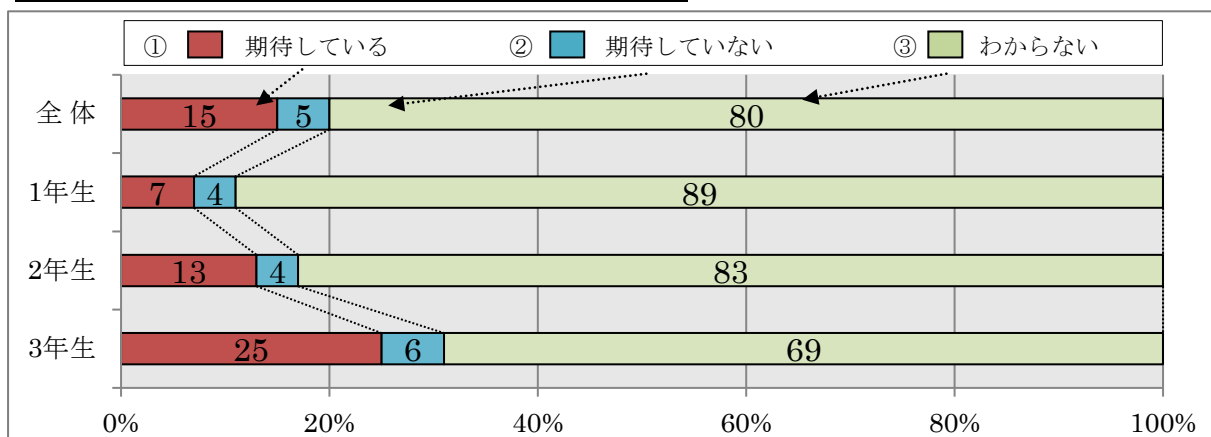
考察 ・2校全体で多い順は、1位：⑥「クラブ活動面」(20%)、2位：⑨「友人関係」(18%)、3位：①「通学便」・③「進路実績」(14%)となっており、例年と比較して多少順位は違いますがあまり大差はない。

・各学年別に見たときの特徴としては、1年生・2年生は⑥「クラブ活動面」や⑨「友人関係」を多く上げているが、3年生は①「通学便」や③「進路実績」を多く上げていることが分かる。

- ④ (1) 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を実施していますが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



- (2) 「油木高校魅力化+プロジェクト」に期待感を持っていますか。

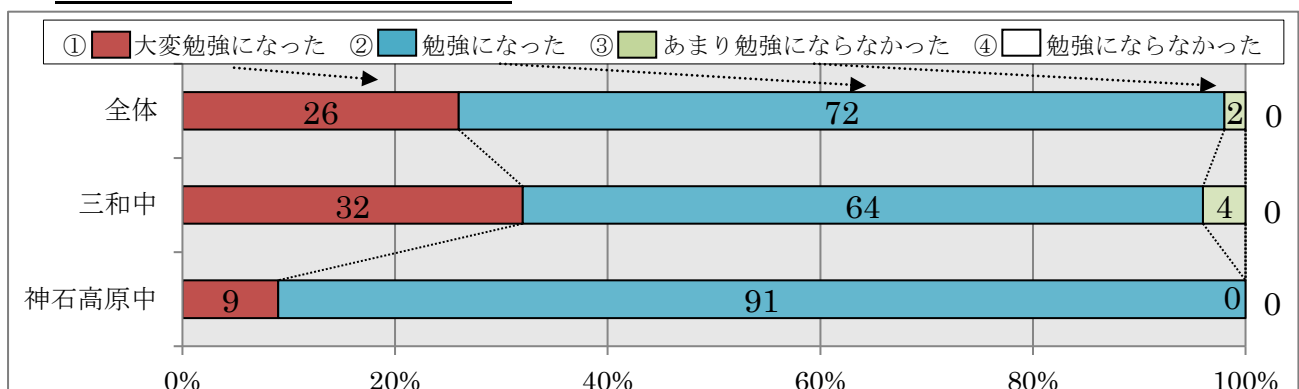


考察 ・中学生の「油木高校魅力化+プロジェクト」の認知度（知っている・少し知っている）は、全体で 33%（昨年 43%）と昨年度より若干下がっており、全学年とも昨年度よりも低くなっている。

「放課後 神ゼミ」が発行している情報紙「神ゼミニュース」を学校ホームページに掲載したり、全中学生に配布しているがまだまだ知らない人が多いので、今後も粘り強く取り組んでいく必要がある。

・中身を十分知らない中で、期待度を尋ねるのは少し無理もあるが、「油木高校魅力化+プロジェクト」の活動内容は、「やりたい自分」や「なりたい自分」を探究していく学習や活動で、将来に生きるキャリア教育に取り組んでいることを理解してもらう必要がある。

- (3) 本年度 12 月 15 日に油木高校が実施された「総合的な探究の時間」等の学習成果発表会に参加した生徒で、高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。

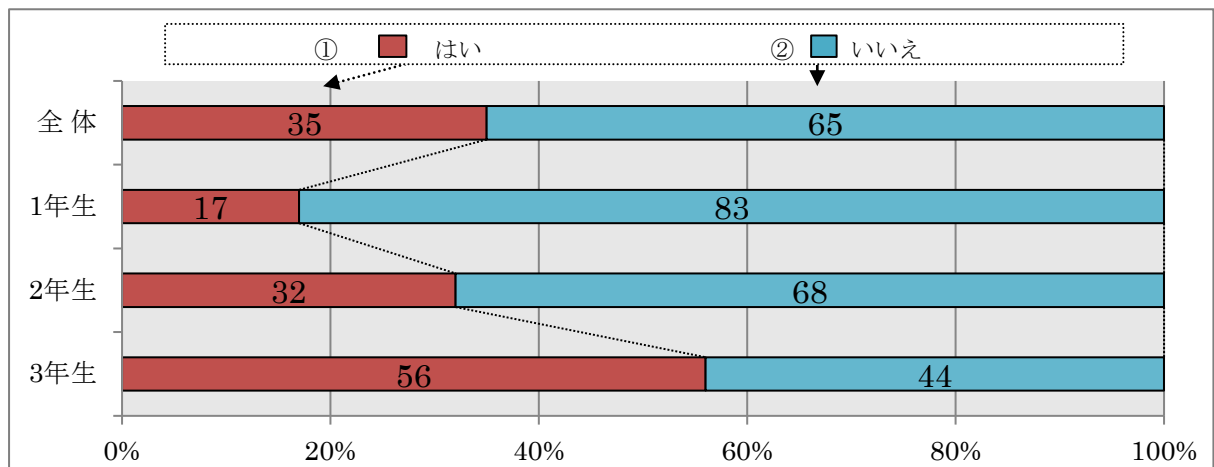


考察 ・ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価をしている。ただ、「大変勉強になった」率はあまり高くはなかった。

・参加した中学生にとっては、今後の学習に役立つものと思われる。そして、油木高校の普通科そして産業ビジネス科の学習内容も少しは理解できたのではないかとと思われる。

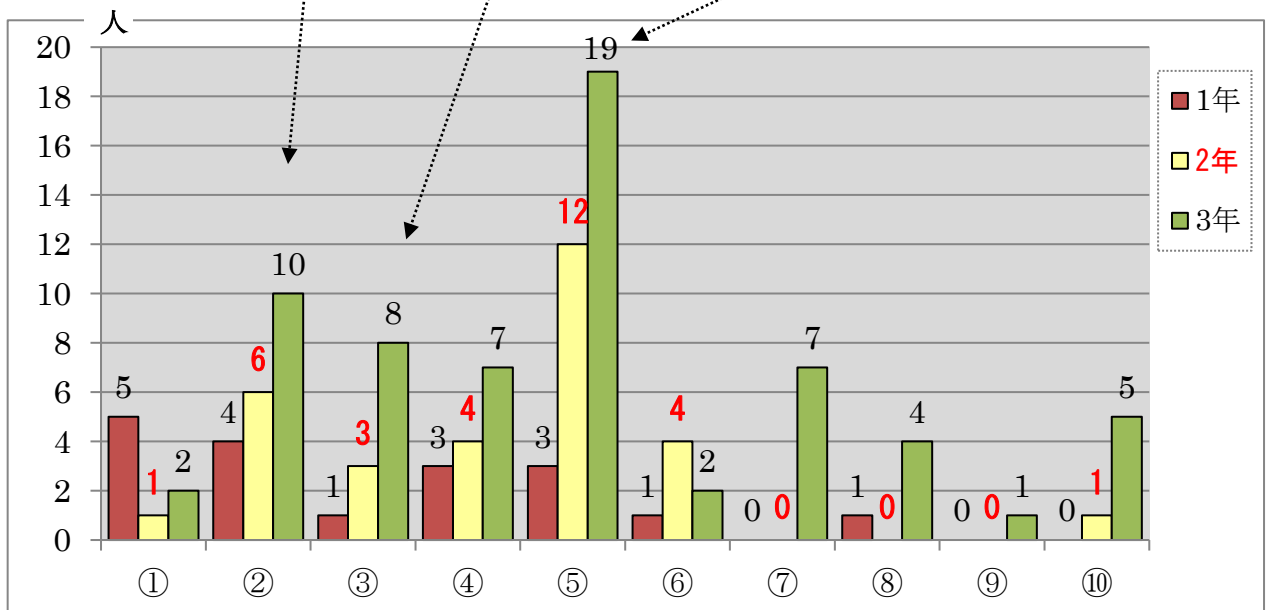
・「総合的な学習（探究）の時間」は中高連携教育の軸となっているので、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要がある。本年度の町研総合部会では、小・中・高の12年間を視野に入れたカリキュラム作りについて（株）ブリパティールにご指導いただきながら研修していくことができた。

5 (1) 油木高校のホームページを見たことがありますか。



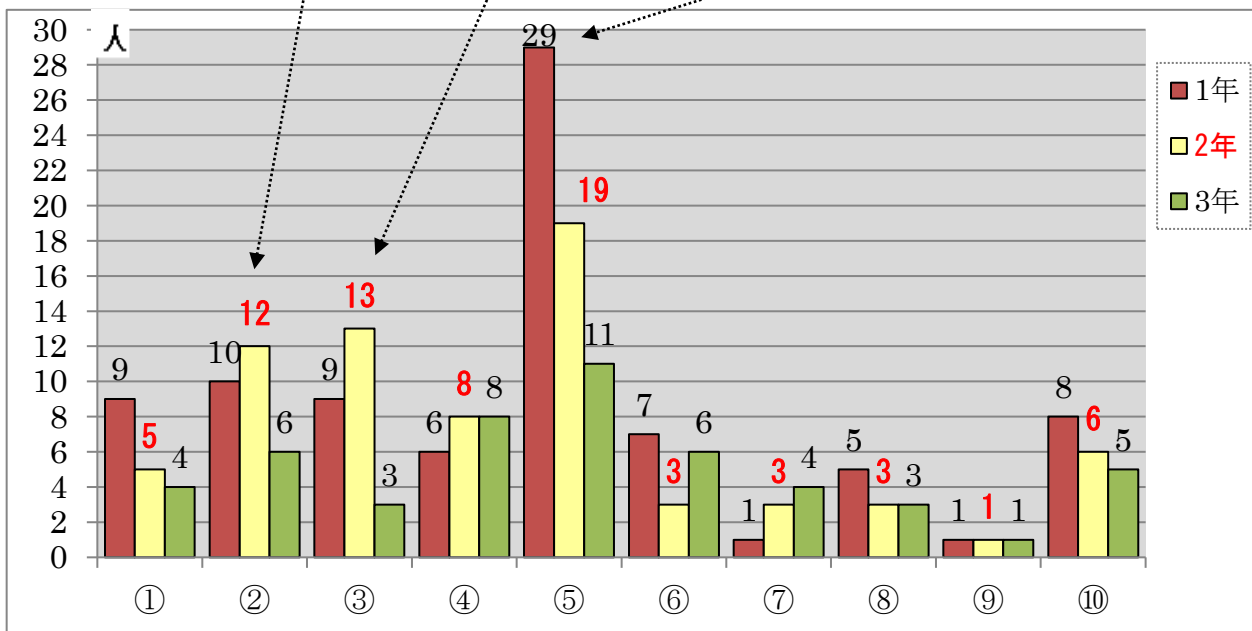
(2) 上記5(1)の質問で「①はい」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心を持って見ましたか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パソレットが加ド ⑩ オーストラリア姉妹校連携



(3) 上記5(1)の質問で「①いいえ」と答えた人は、下の①～⑩の中で、どのコーナーに興味・関心がありますか。

- ① 新着情報 ② 学校案内 ③ 学科案内 ④ 施設紹介 ⑤ 学校生活 ⑥ 高校魅力化
 ⑦ 連携型中高一貫教育 ⑧ 入学を希望される方へ ⑨ パンフレットのダウンロード ⑩ オーストラリア姉妹校連携



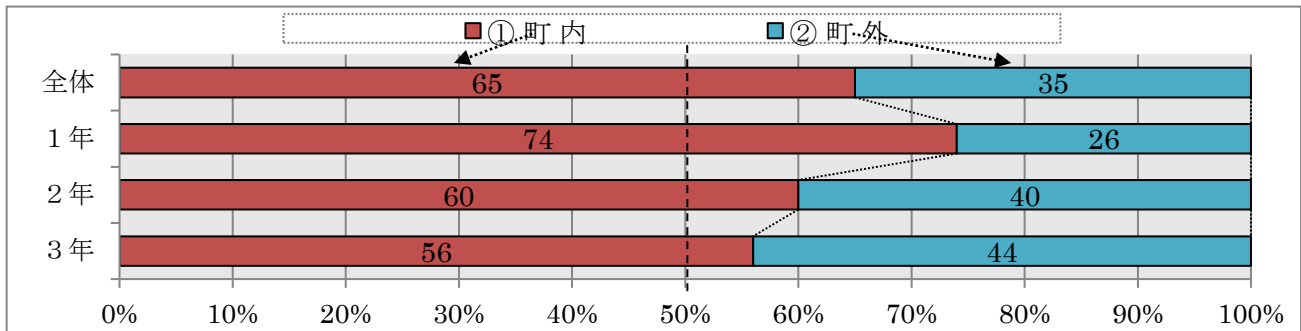
考察 ・油木高校ホームページを見たことのある生徒は全体で35%（昨年度36%）と半分を切っているが、中3生は56%（昨年度62%）と、やはり高校への関心が高いことが伺われる。

・「見たことがある生徒」で興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」の順であった。そうした中で、中学校3年生はどの項目にも関心をもって見ている生徒が多いようである。

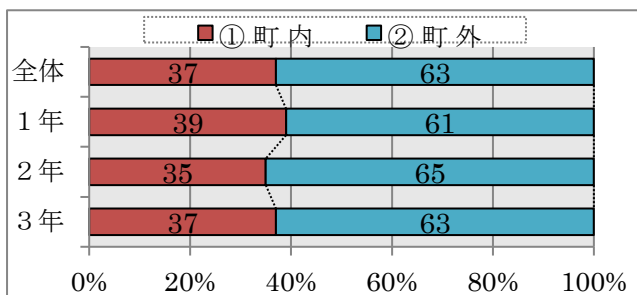
・「見たことがない生徒」で、興味関心の高いものとしては、1位：⑤「学校生活」、2位：②「学校案内」、3位：③「学科案内」の順で、「見たことがある生徒」とあまり大差はない。

2. 油木高校生 に係るアンケート調査の結果と考察

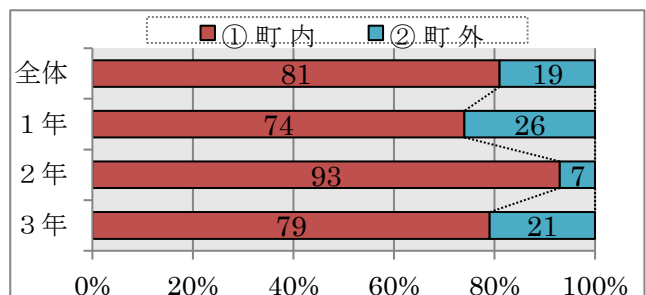
1 あなたの出身中学校は、どちらですか。 < 全体：学年別 >



< 学科別：産業ビジネス科 >



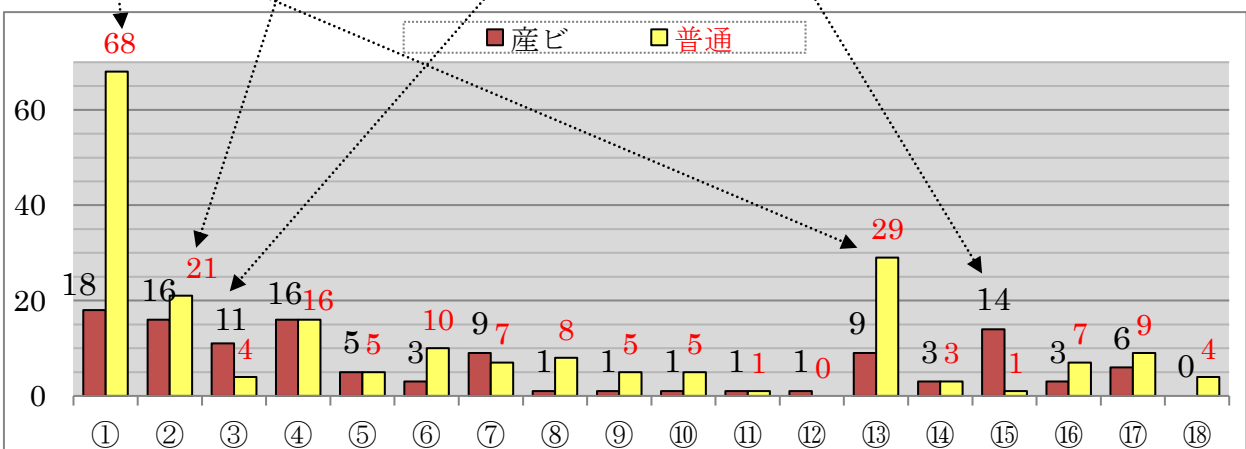
< 学科別：普通科 >



考察 ・全体的には、6.5 対 3.5 で町内生徒が多いが、学科別で見ると、産ビ科の町外生徒が 63%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26 年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、年によって数の増減はあるものの、本年度は 1 年生 10 人、2 年生 3 人、3 年生 6 人が通学している。

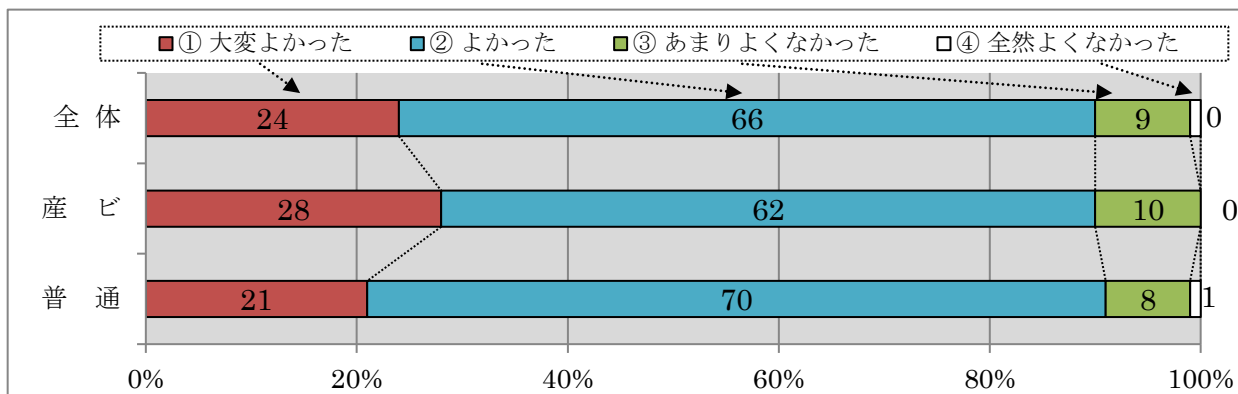
2 あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① 自宅から近い
- ② 親・家族の薦め
- ③ 先生の薦め
- ④ 自分の希望
- ⑤ 教育内容面
- ⑥ 部活動面
- ⑦ 寮がある
- ⑧ はやぶさ塾がある
- ⑨ 放課後神ゼミがある
- ⑩ 海外研修がある
- ⑪ 進路実績
- ⑫ 評判
- ⑬ 友人関係
- ⑭ 経費が安い
- ⑮ 学科への興味
- ⑯ 通学費の補助
- ⑰ 兄弟が通学している
- ⑱ その他（ ）



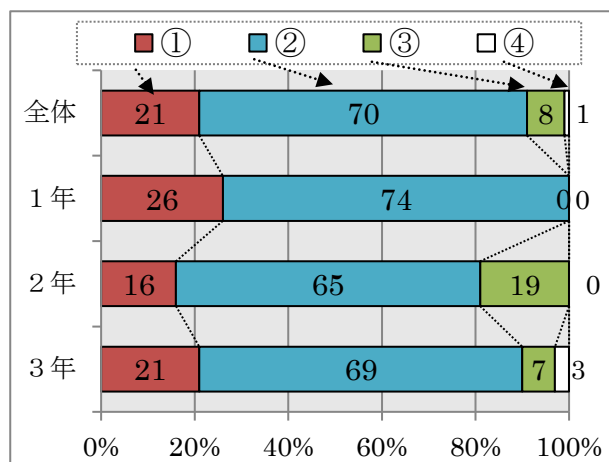
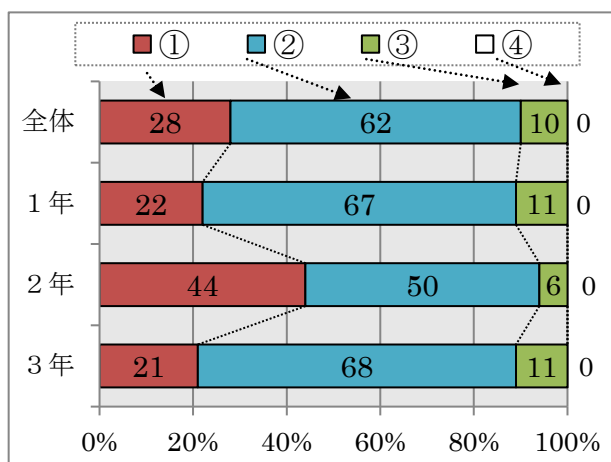
考察 ・全体的に多いのは、①「自宅から近い」や⑬「友人関係」、そして②「親・家族の薦め」であった。
 ・学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」⑬「友人関係」、そして、⑧～⑩の町の具体的支援を選んだ生徒が産ビ科よりもかなり多く、産ビ科では⑮「学科への興味」③「先生の薦め」が普通科と比べて多いのが特徴である。

③ あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >

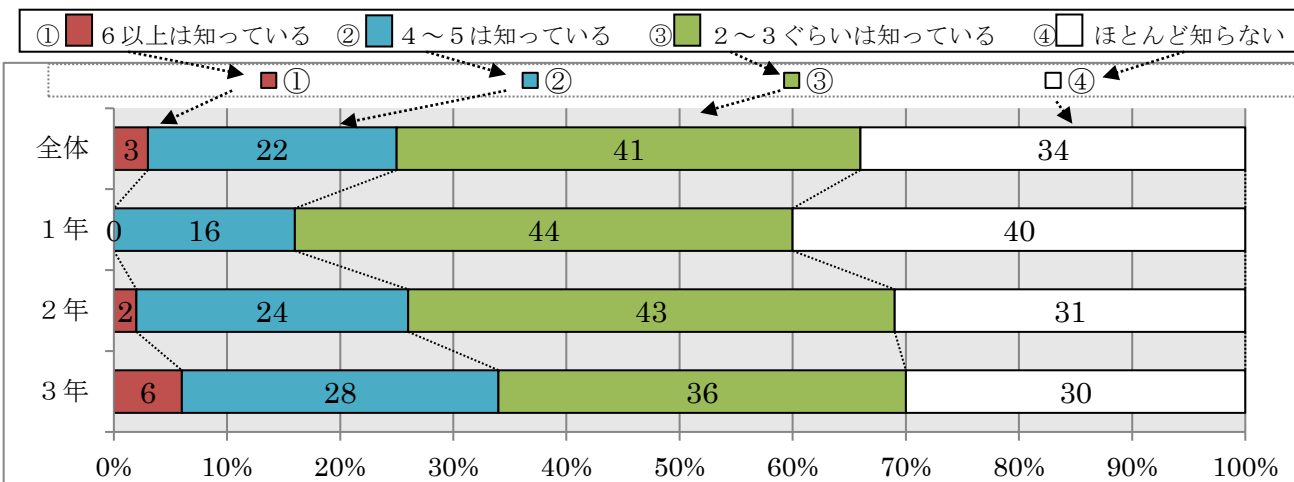
< 普通科 >



考察 ・全体では、例年と同様に多くの生徒（90%：昨年91%）が「よかった」と肯定的回答をしている。
 ・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で28%（昨年34%）、普通科は21%（昨年21%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科10%（昨年6%）、普通科9%（昨年11%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、普通科に1%（1人）であった。
 ・学年、学科ごとでは、1年生の普通科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較でみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年88%→89%）、同じく2年生は（昨年94%→94%）、一方、普通科3年生は（昨年91%→90%）、2年生は（89%→81%）という回答率であった。

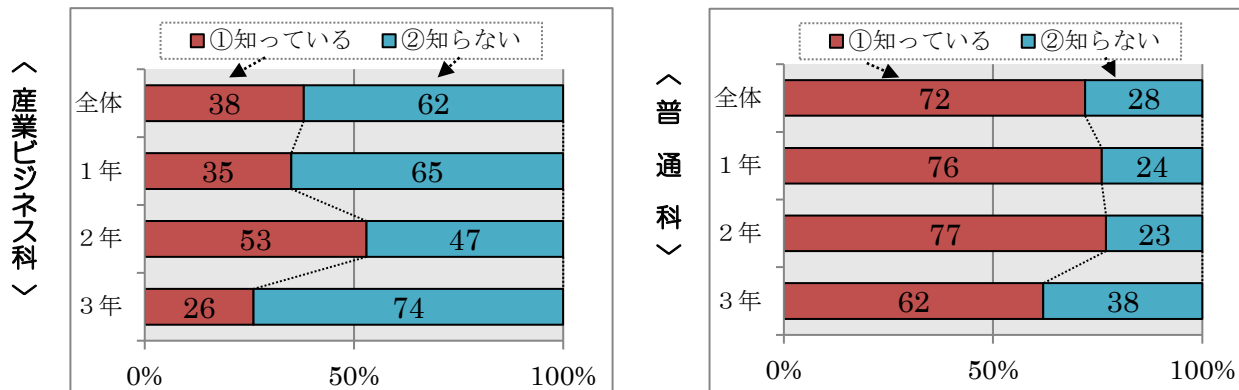
④ 本町では、油木高校の教育充実のために色々な支援を行っていますが、そのことについて次の質問に教えてください。

(1) 本町では本年度「油木高校生への8つの支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。



考察 「6以上は知っている」が全体で3%（昨年6%）と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が34%（昨年30%）で、毎年度新しいリーフレットを生徒並びに教職員へ配布しお知らせしているが、今後一層の周知活動に努めながら、油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。なお、学校におかれても機会を捉えて生徒や保護者の方に紹介をよろしくをお願いします。

(2) Q1 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。



Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産ビ科	1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0
普通科	5	2	1	8	11	2	2	15	0	0	0	0
計	6	2	1	9	12	3	2	17	0	0	0	0

Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみての感想はいかがですか。

① 大満足 ② 満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

	普通科 (1・2・3年)	産ビ科 (1・2・3年)	計 (%)	理由
①	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)	
②	8人 (5・1・2人)	1人 (1・0・0人)	9人 (22%)	(普)・分からない所は丁寧に教えてもらえる ・プリント学習で自分の学習状況を理解しながら進められる ・1年の時に参加して勉強時間が充実していて、とても良かったと思う
③	25人 (10・10・5人)	4人 (2・2・0人)	29人 (71%)	(普)・とても集中できる(2) ・分からない問題を考えてもらえる ・家でやることと変わらない ・学習時間を確保できるという意味では凄いいと思う
④	3人 (0・2・1人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	(普)・ただプリントをやるだけで授業をするようなものではなかったから ・自習室みたい
⑤	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)	

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、一昨年から年度初めの1年生オリエンティングで塾長さんの方から中身についての説明を頂いたり、町内中学3年生は全員体験塾を自校で実施しているので、普通科1・2年生の周知度は高い。

・3年前から指導教科や時間帯を増やしているが、受講者数は26名(昨年:29名)で、そのうち通年者は9名(昨年:10名)と、減少している部分もあり、改善策を塾側や学校と協議しながら取り組んでいく。

・7月~3月までは、前半(16:00~18:00)・後半(18:30~20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、極まれで(月平均1~2人)であるが、バス通学生にとっては好評のようである。

・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価は22%(昨年:41%)と例年よりもかなり低い評価である。やはり受講者が満足感をもって、できるだけ多くの生徒が受講するよう、塾側や学校と十分検討した上で、今後の取組を進めていきたい。(検討会議 R5.2/1実施して改善策を決定している。)

※1, 2年生のみ答えてください。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

Q4 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

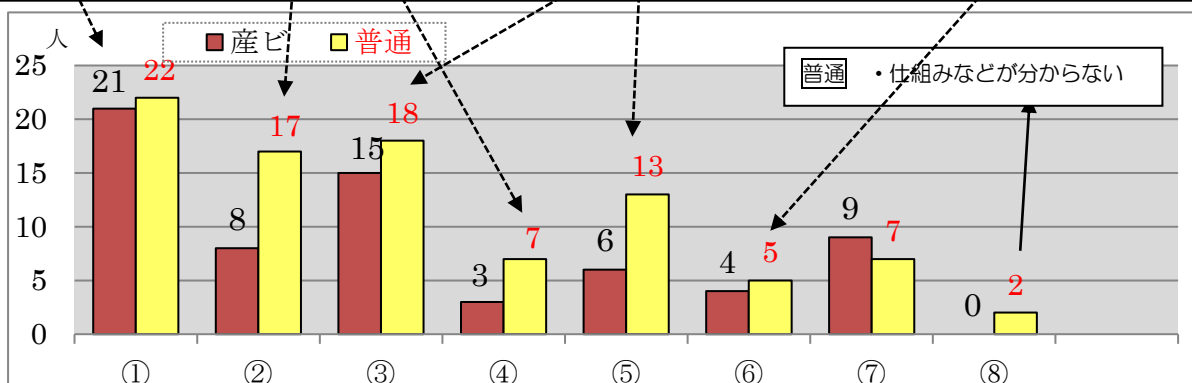
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	3人	2人	5人 (8%)	1人	0人	1人 (3%)	6人 (7%)
② 参加したくない	11人	16人	27人 (44%)	12人	6人	18人 (56%)	45人 (48%)
③ わからない	20人	9人	29人 (48%)	4人	9人	13人 (41%)	42人 (45%)

考察 現時点での「受講希望者」は、6人(昨年:15人)とかなり少ない。しかし、4月から学校側の協力も頂きながら新しい取り組みで実施されるので、その推移を見ていく必要がある。新しい取組とは、指導者が2人態勢なので、それを有効に活用したコース制(フリーコース, 4大コース)を導入していく予定である。

※ 「はやぶさ塾」に参加していない人だけ答えてください。

Q5 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。下の①~⑧の中で当てはまるものをすべて選んでください

- ① 必要性を感じない ② 部活動の後は学習意欲がわかない ③ 20時30分終了だと帰宅手段(バス・迎え)がない ④ 塾の勉強の仕方が自分に合わない ⑤ 自分一人で勉強したい ⑥ 塾に行く時間がない ⑦ 受講料が高い(半期:1万円) ⑧ その他



考察 産ビ科・普通科共に「参加していない理由」の多くは①「必要性を感じない」、②「部活動の後は学習意欲がわからない」、③「帰宅手段がない」、⑤「自分一人で勉強したい」といったもので、例年とあまり差異はない。

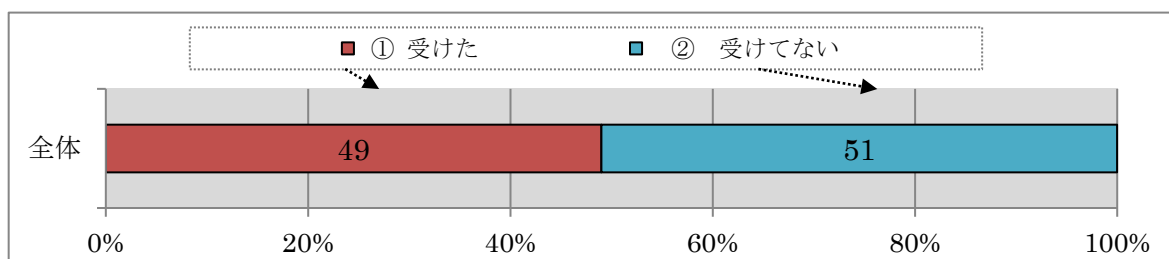
(3) 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助(合格者のみ)をしていますが、令和4年2月～令和5年1月の期間で、これらの制度を利用したことがありますか。

	普通科				産業ビジネス科				総計 (人)
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	2	11	5	18	0	0	1	1	19
漢字検定	2	4	6	12	0	2	1	3	15
数学検定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型車両系建設機械(整地等) 小型フォークリフト特別教育講座	0	0	5	5	0	6	14	20	25

考察 ・科ごとに利用者数の違いはあるが、本年度も両学科共に英検・漢検・小型車両系建設機械・小型フォークリフト特別講習の利用者があった。しかし、数学検定の利用者は両学科ともなかった。

(4) 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。

(本年度の町外生徒は 65 名 → 内 32 名が受けている)



<本年度入寮者の概要>

* () 内数は町内生徒数

学年	男子 (最大収容人数: 31人)			女子 (最大収容人数: 12人)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
人数	9人(0)	6人(0)	8人(0)	5人(1)	0人(0)	2人(1)
計	23人(0)			7人(2)		

考察 ・補助利用者は32人(49%)で、利用していない町外生は33人(51%)である。非利用者の多くは寮生(寮の町外人数: 男子23/23人・女子5/7人)のようなので、寮生を除いた利用率は約86%で、非常に高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つではある。ただ、R5年4月からバス運賃が値上がりするため、特に小・中学校保護者アンケートの回答の中に、不安視しておられる方が数名あった。

(5) 次の質問については、1, 2年生のみ答えてください。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり ② 希望なし ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2) (%)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	6人	6人	12人 (20%)	0人	1人	1人 (3%)	13人 (14%)
② 希望なし	12人	13人	25人 (41%)	11人	11人	22人 (63%)	47人 (49%)
③ わからない	16人	8人	24人 (39%)	7人	5人	12人 (34%)	36人 (37%)

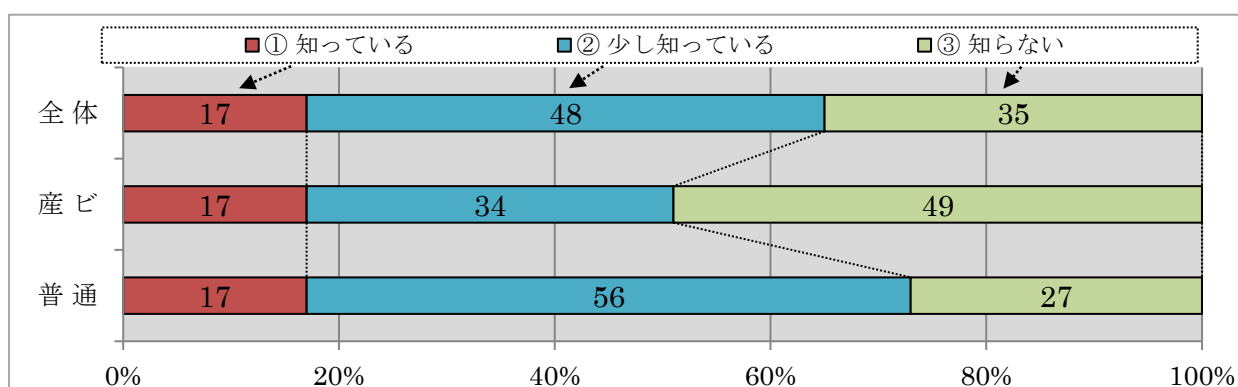
Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

① 短期 (2週間) ② 長期 (10週間)

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+②	③ 1年生	④ 2年生	③+④	
① 短 期	6人	4人	10人	0人	0人	0人	10人
② 長 期	0人	2人	2人	0人	1人	1人	3人

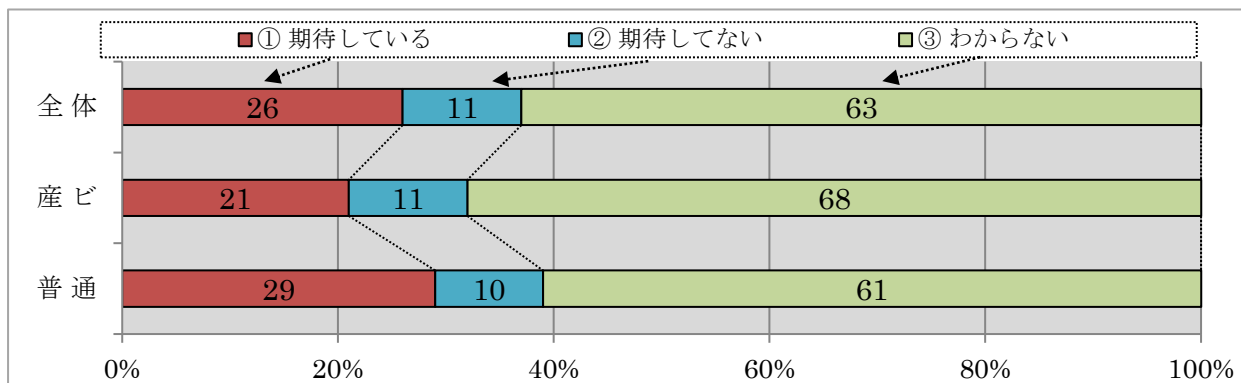
考察 ・ 現段階で「参加希望有り」と回答した生徒は、13名 (昨年22名)で、その中で短期が10名、長期が3名と回答している。 いずれにせよ、定員数 (長期：1名、短期：5~6名) よりオーバーしており、今後増える可能性もある。ただ、ここ3年間コロナの影響で実施できていないが、来年度については今のところ実施予定で進められている。

(6) Q1 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために「油木高校魅力化+プラスプロジェクト」に取り組んでいます。その具体策（「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など）を現在、実施中ですが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



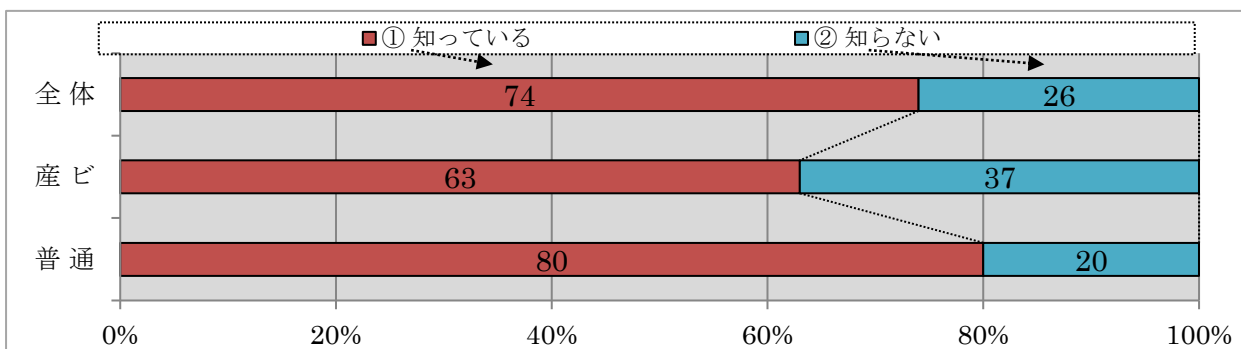
考察 ・ 前年度の「知っている・少し知っている」の認知度は (全体：64%、産ビ：56%、普通：71%) であったが、本年度は (全体：65%、産ビ：51%、普通：73%) と前年とあまり大差はない。油木高校ホームページへ「高校魅力化」コーナーを設けて情報提供しているが、その中に「総合的な探究の時間」の取組状況が掲載されていくとより充実したホームページになると思われる。

Q2 「油木高校魅力化+(ﾌﾟﾗｽ)ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」に期待感をもっていますか。

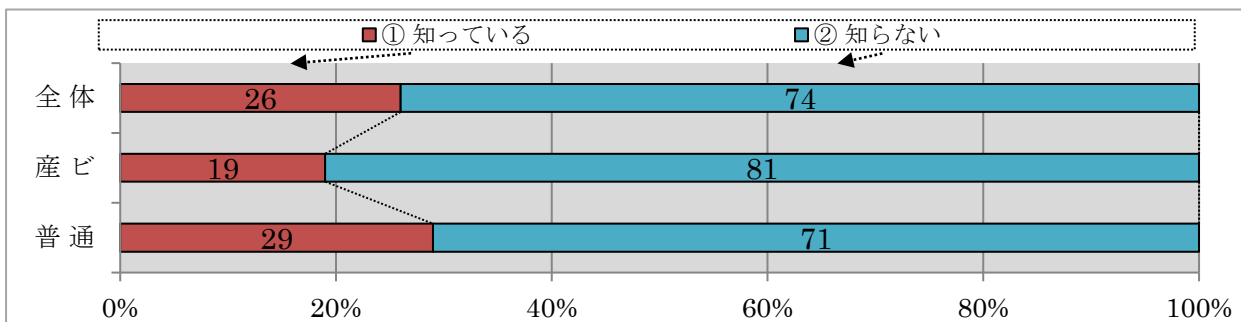


考察 ・昨年度の生徒の期待度は全体で「期待している：26%、期待していない：14%、わからない：60%」であったが、本年度もあまり状況変化はない。しかし、生徒が学習している「探究的な学習の時間」への関心・意欲・態度はどの学年も高まっていると感じられる。

(7) Q1 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか



Q2 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では、どんなことをしているか知っていますか。



Q3 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。 ※()内は昨年度的人数

	産業ビジネス科	普通科	計
	受講したことがある	受講したことがある	受講したことがある
1年生	0人 (2人)	1人 (3人)	1人 (5人)
2年生	3人 (2人)	4人 (2人)	7人 (4人)
3年生	0人 (6人)	1人 (3人)	1人 (9人)
計	3人 (10人)	6人 (8人)	9人 (18人)

Q4 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

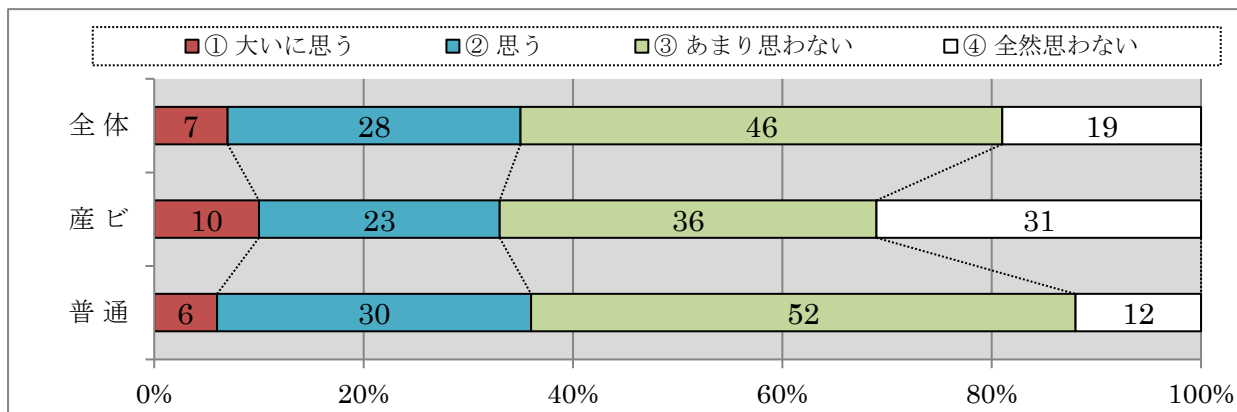
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
1年生	0	1	0	0	1	0	1	0
2年生	1	0	1	2	0	0	0	1
3年生	0	1	0	0	0	0	0	0
計	1人	2人	1人	2人	1人	0人	1人	1人

考察 ・放課後「神ゼミ」に係る上記質問の回答率は、前年とほぼ同じぐらいかやや低下している。このような状況の中で、指導者は生徒に色々な声掛けなり仕掛けをしながら取り組まれているようである。その様子は毎月発行されている「神ゼミにゆうす」に掲載されている。

・しかし、あまりに受講者が少ないだけに、今後も粘り強く増える取組なり作戦を考えていく必要がある。そして、今後も研鑽を積みながら、実績の見える化(外部の発表大会等での入賞)を図っていく必要がある。

・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+プロジェクト」の目玉でもあるので、より多くの生徒が受講し、中身も充実したものになるよう、実績のある(株)プリバンの指導や支援を今後もお願いしていきたい。

5 (1) あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。

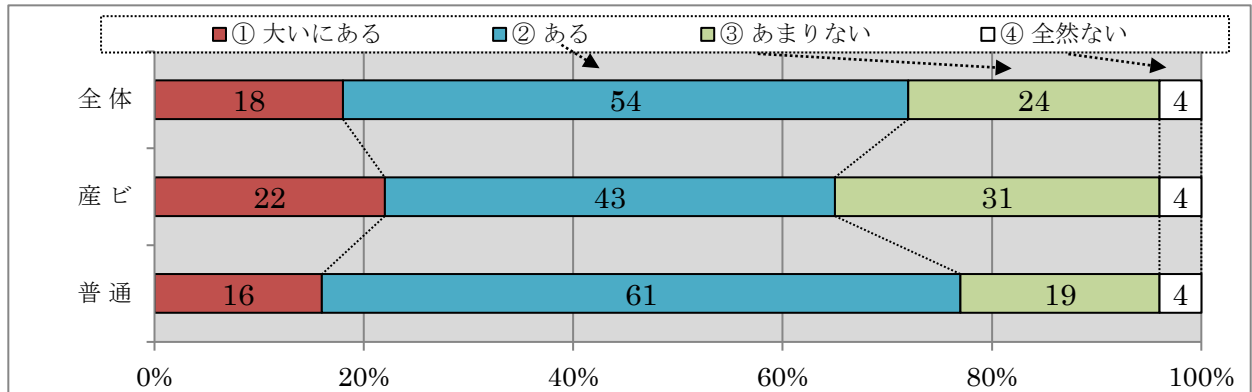


	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				全体
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	1	1	3	5 (6%)	1	2	2	5 (10%)	10 (7%)
② 思う	9	9	9	27 (30%)	4	5	3	12 (23%)	39 (28%)
③ あまり思わない	19	15	13	47 (52%)	8	3	8	19 (36%)	66 (46%)
④ 全然思わない	5	2	4	11 (12%)	5	6	5	16 (31%)	27 (19%)
小計	34	27	29	90	18	16	18	52	142

考察 ・全体では、①「大いに思う」が7%（昨年12%）と約1割，人数では10人（昨年18人）である。そして、「思う」は28%（昨年23%）で、肯定的回答は約1/3である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は65%で、約2/3を占めている。この数値は前年とあまり大差はない。

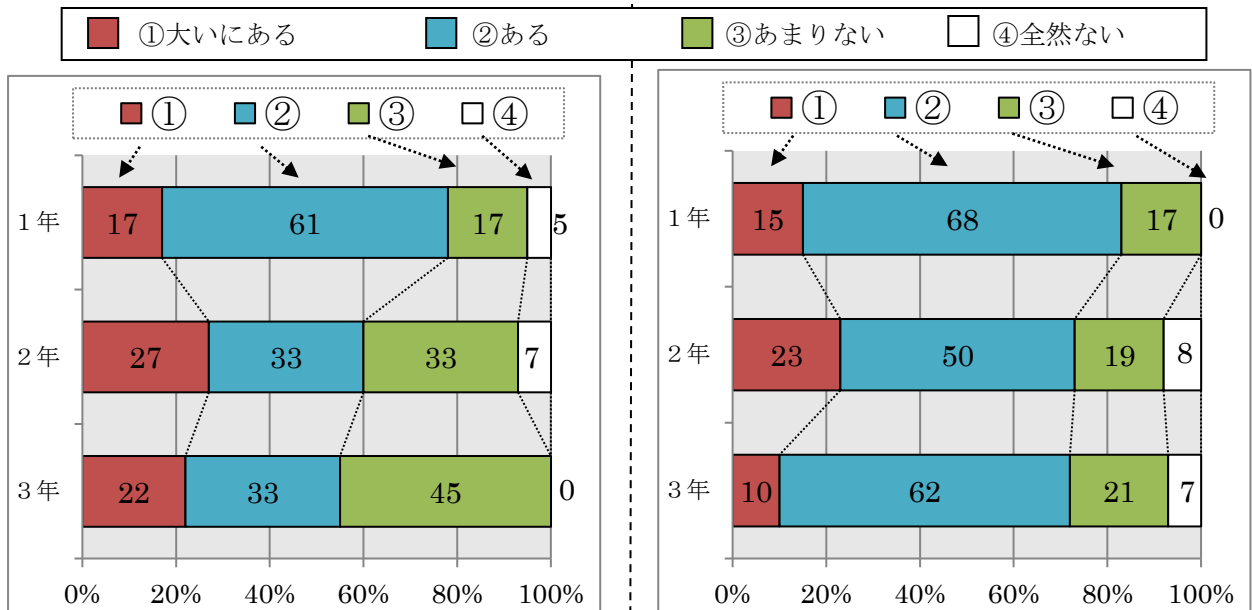
・学科別においても、「大いに思う・思う」は両科ともほぼ同率であるが、否定的回答の「全然思わない」（普：12%、産ビ：31%）と倍半違うのは、産ビ科生の約6割が町外生であることが影響しているものと考えられる。

(2) あなたは、自分の地元貢献したいという気持ちがありますか。



< 産業ビジネス科 >

< 普通科 >



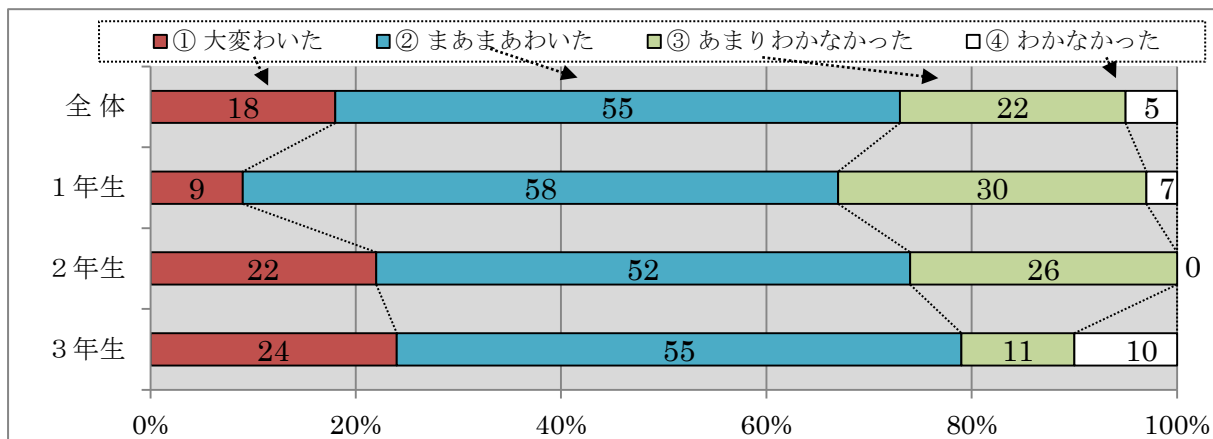
	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	3	4	4	11 (22%)	5	6	3	14 (16%)	25 (18%)
② ある	11	5	6	22 (43%)	23	13	18	54 (61%)	76 (54%)
③ あまりない	3	5	8	16 (31%)	6	5	6	17 (19%)	33 (24%)
④ 全然ない	1	1	0	2 (4%)	0	2	2	4 (4%)	6 (4%)
小計	18	15	18	51	34	26	29	89	140

考察 ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある」と回答した生徒が18%（昨年27%）で、「ある」を含めた肯定的回答は72%（昨年69%、一昨年54%）で2/3以上と、年々増加しているのはうれしいことである。

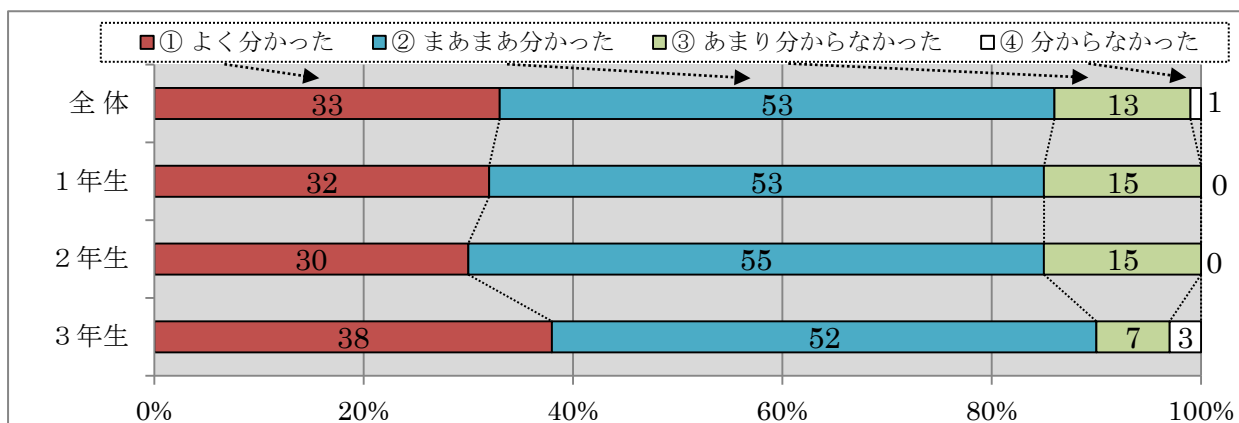
- ・学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合では、やや普通科の肯定的回答率が高い。
- ・学科別&学年別では、肯定的回答が70%以上は、産ビ科1クラス、普通科3クラスであった。

⑥ 本年度の「総合的な探究の時間」について質問します。 *普通科の1～3年生のみ答えてください。

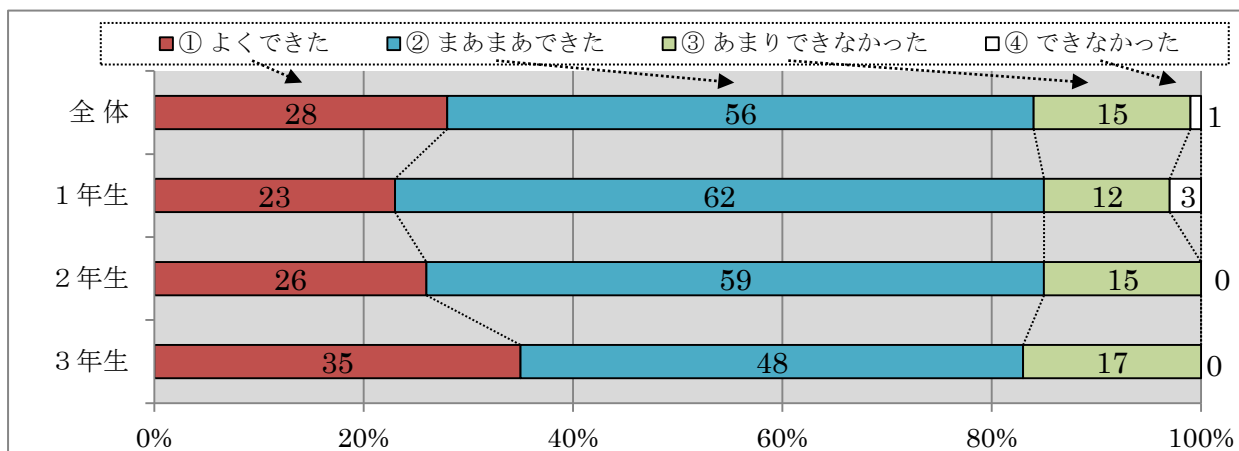
(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。（興味・関心・意欲）



(2) 授業内容はわかりましたか。（理解度）



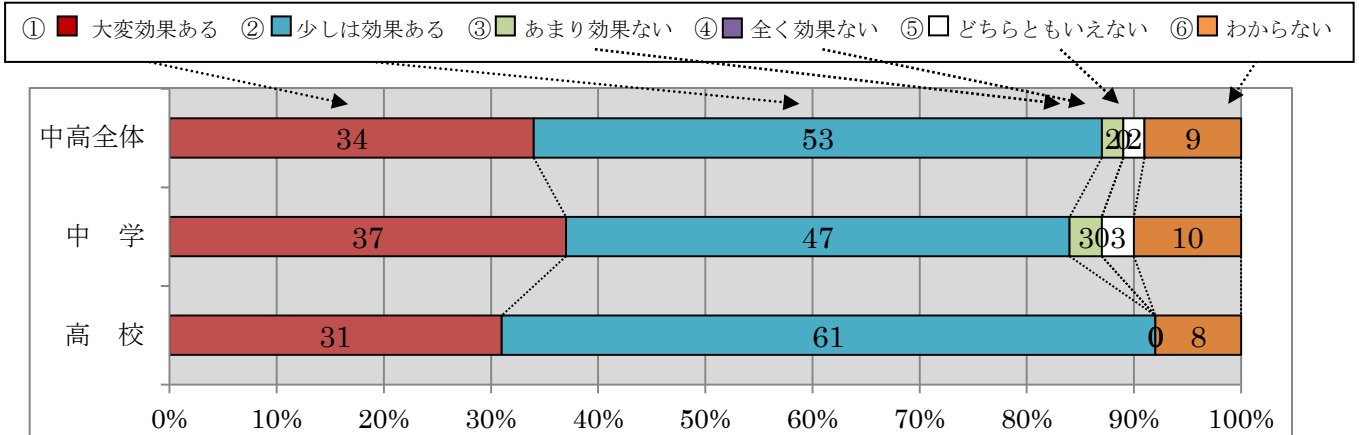
(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。（態度・活動面）



考察 ・普通科の全学年に「総合的な探究の時間」について、(1)で興味・関心・意欲、(2)で理解度、(3)で態度・活動面をそれぞれに質問したのですが、どの項目についても70%以上の肯定的回答であった。その中で、(2)理解度、(3)態度・活動面は80%以上の生徒が肯定的回答で高い自己評価をしていた。

3. 町内中学校・油木高校教職員に係るアンケート調査の結果と考察

① 本町では油木高校のピーアールや魅力化のために、広報紙「中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」、「神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援」、「油木高校ガイドブック」などを作製し、町民や関係保護者に配布していますが、これらのことについてどう思われますか。

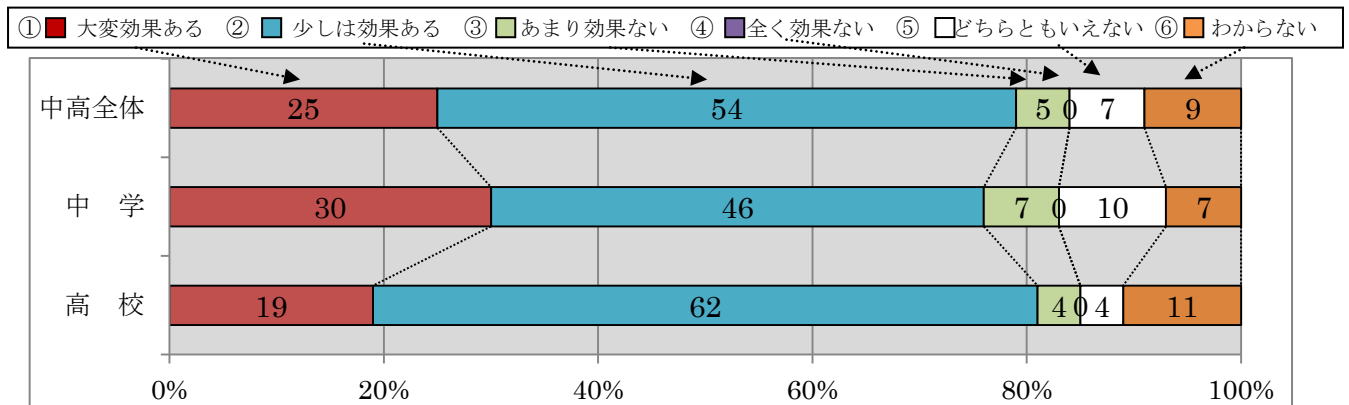


考察 全体では、「大変効果がある・少しは効果がある」の肯定的回答は 87%（昨年 82%）で多くの方が評価されている。いずれにしても、油木高校に係る情報は町民や関係保護者等に知らせていくことは必要であると考える。

② 中高連携の中で、交流授業、部活動交流、学校行事への参加、教職員の交流などが実施されていますが、連携教育の効果についてどう思われていますか。

(1) 定例的な交流授業

(高→中：英語、中→高：音楽・英語) について、どう思われていますか。

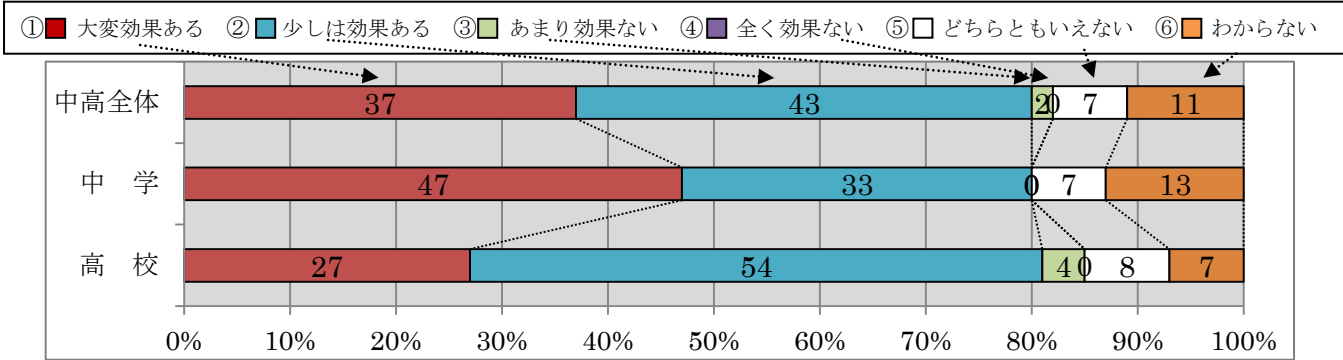


< 推進上の課題 >

(中)・中学校での学習が高校でどのように繋がっていくかを生の声で伝えてもらえる ・兼務の先生の本務校での生徒との関りが希薄になるのでは ・スケジュールの連絡が不十分で困ることが多々あります ・交流の時間、本務校にいられない / ・単発で授業を行うので若干難しさがある ・両校の英語教員の負担が増えるだけのように見える ・日程調整

(高)・難しいとは思いますが、様々な教科で行うことができれば、より効果があると思う ・もっと中高の特色を出して授業展開が出来れば良いと思います ・勤務校での授業が少なくなる点 ・他教科への拡大(年1回でもよいので) ・高校でも知っている先生がおられるのは安心感があって良いと思う

(2) 部活動交流について、どう思われていますか。

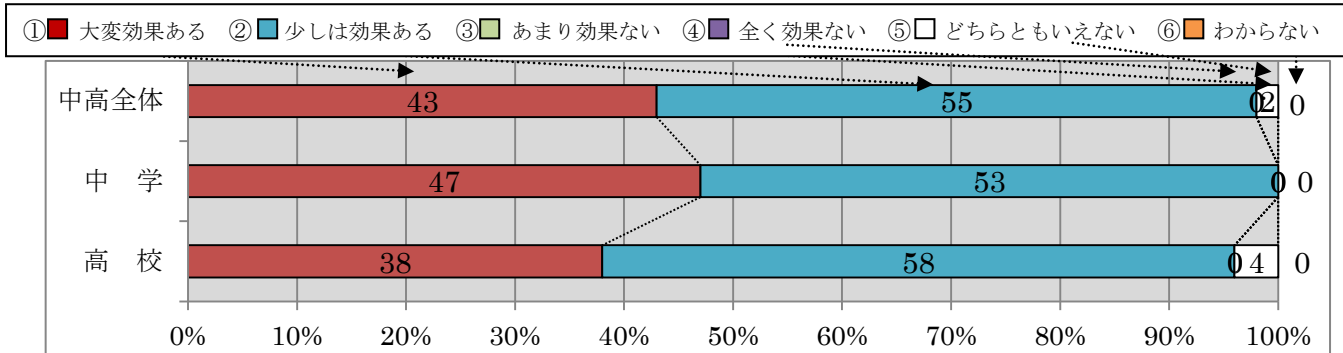


<推進上の課題>

(中)・技術面で身近な先輩から指導してもらえる / ・日程調整が難しい ・移動手段 ・今後、部活動の地域移行に伴って、交流の在り方を再考していく必要がある ・交流しているのは、吹奏楽とバレーだけでは？

(高)・さらに交流を促進させる必要があると**思います** ・今後も継続すると良いと**思います** ・移動手段
 ・回数が年1回程度なので2~3回に増加させたい

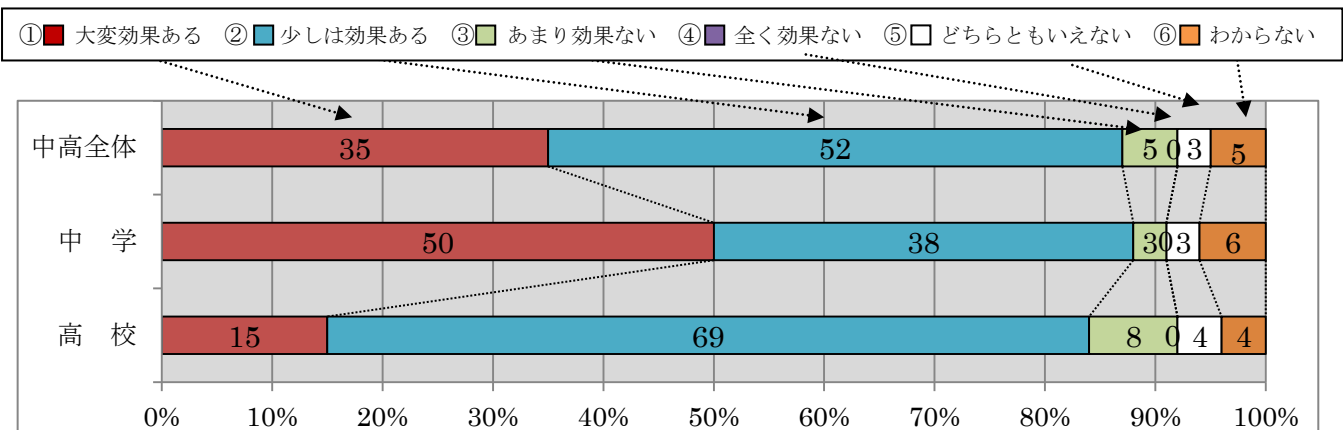
(3) 学校行事（オープンスクール・学習成果発表会など）への参加について、どう思われていますか。



<推進上の課題>

(中)・日程調整 (高)・移動手段、日程、時間の調整 ・試験日程、三者懇談の日程、高校に学園祭などオープンスクールの日程に行事が集中していること、業務が集中することが課題

(4) 教職員の交流（教科部会・教科外部会など）について、どう思われていますか。



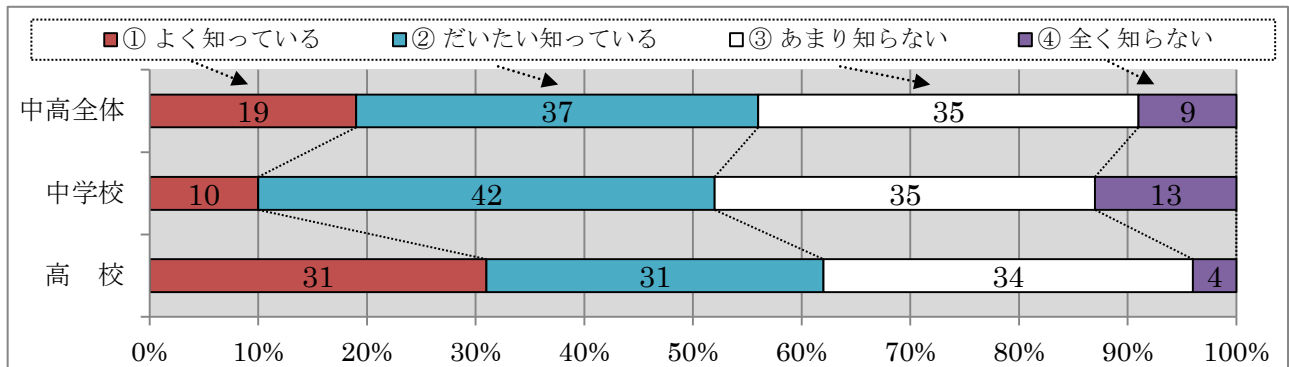
<推進上の課題>

(中)・日程調整 (高)・授業交流までできれば効果がよく見えると**思う** ・花壇の植栽などが単発的な行事から事前・事後までできると良いと**思う**

考察 ・中高全体では、多くの項目が「①大変効果がある、②少しは効果がある」とする肯定的回答が80%以上ある。中でも、「学校行事への参加」は98%の高い肯定的評価である。一方、肯定的評価が80%以下は「交流授業」で、特に中学校の方が評価が低い。その原因はどこにあるのか、そしてその解決のためにはどんな策があるかなどについて町研教科部会等で検討していく必要がある。

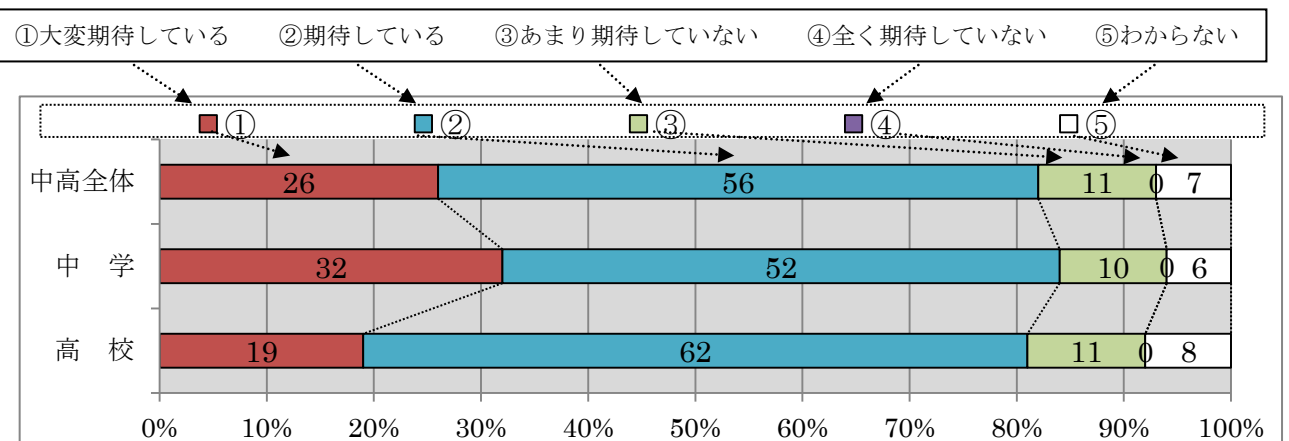
・本年度も各質問項目に関わる「推進上の課題」等をいろいろあげて頂いているので、いずれも教育内容に関わるものだけに、一つ一つ中高一貫教育推進委員会を中心として、校長会や事務局会等で検討し、今後の方向性を出していく必要がある。また、教科に関わっては町研教科部会などでも話し合ってみる必要がある。

③ 本町と油木高校では、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組んでいます。その取組内容を知っておられますか。



考察 ・「油木高校魅力化+プロジェクト」の取組内容の認知度は、前年度と比較して、高校が20%（82%→62%）低下している。高校へは直接外部者（プリマペンギン）が入って支援なり指導をして頂き、「総合的な探究の時間」を中心とした教育の中身充実に取り組んでいることを教職員間に知って頂く必要がある。

④ 「油木高校魅力化+プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域や学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しようとしていますが、そのことへのどの程度期待感をもっておられますか

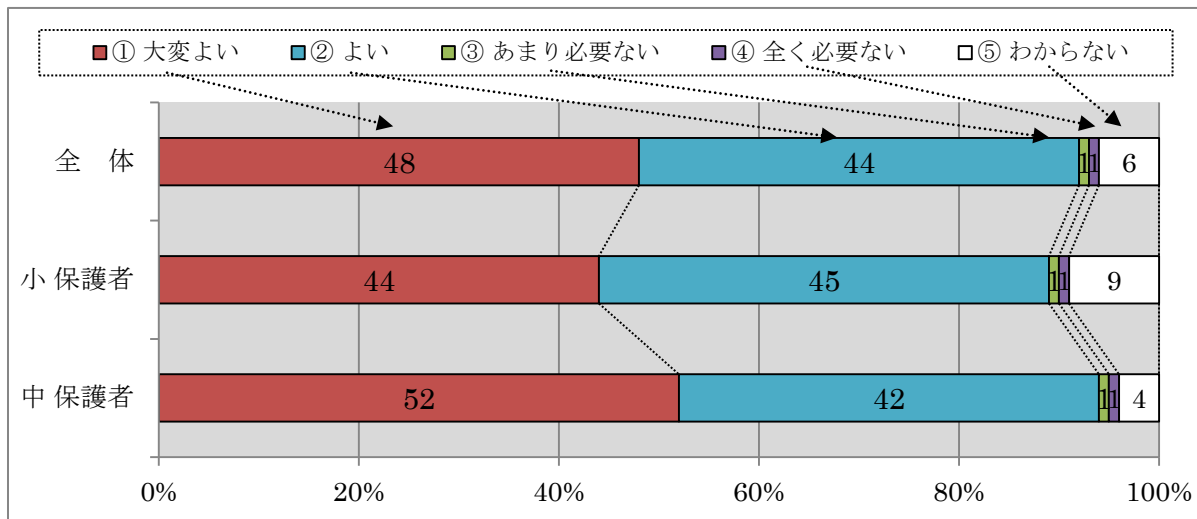


考察 ・中高全体では、「大変期待している」・「期待している」の肯定的回答が82%（昨年：90%）と昨年よりやや下がったものの高い評価で、期待度の高いことが同われる。

・中高別では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が昨年は高校の方が高かったが、本年度は3%ほどであるが中学校の方が高く、「大変期待している」が13%上回っており、高校への期待度が同える。

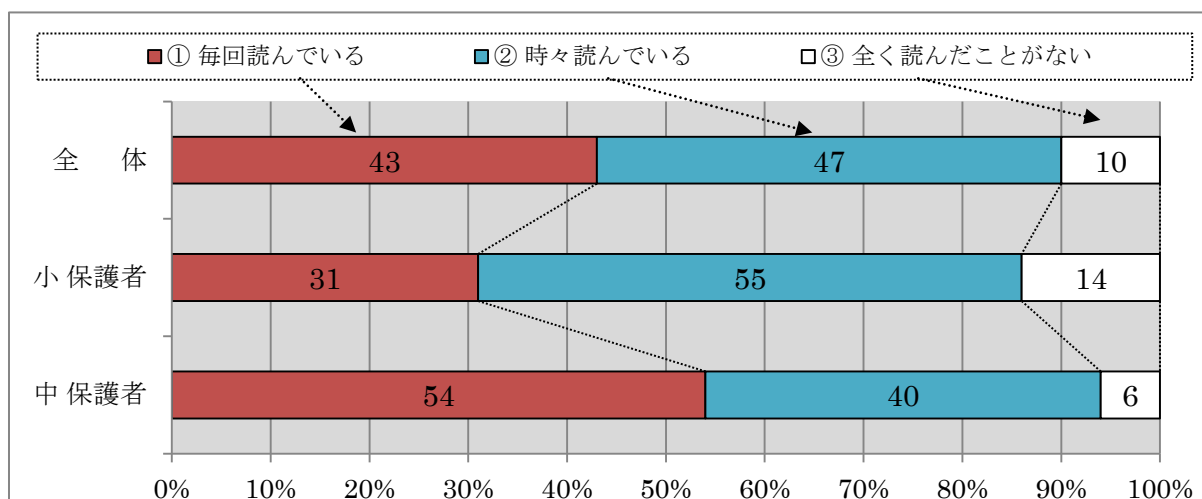
4. 小学校(4～6年生)・全中学校 保護者 に係る調査の結果と考察

- ① 油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



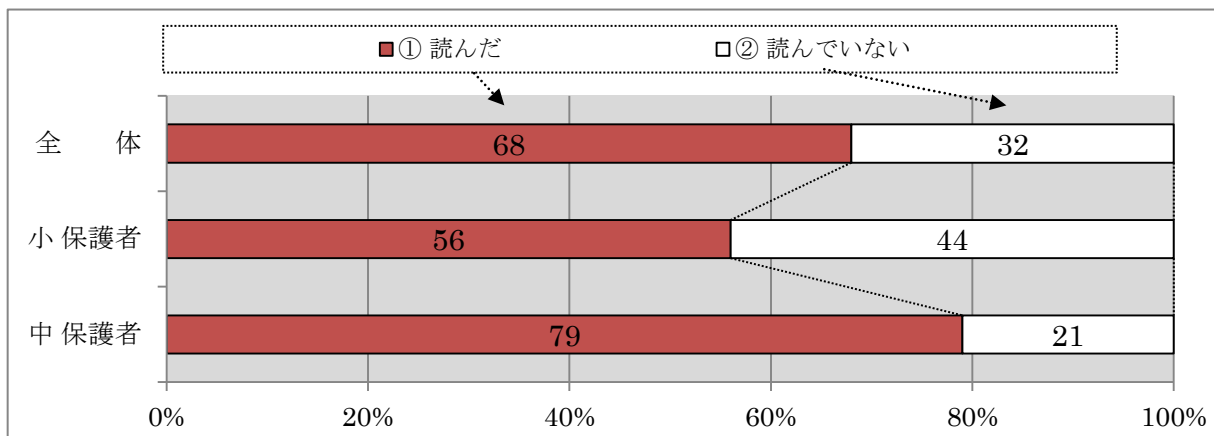
考察 全体としては「大変よい・よい」とする肯定的回答92%（昨年85%）と非常に高い評価である。一方、「わからない」とする数値も6%（昨年13%）と前年よりかなり低くなっている。しかし、今後も関係保護者への情報提供は、広報紙『中高一貫教育ジャーナル 高原の風』で連携教育の取組みを紹介したり、ケーブルテレビの活用（次世代議会など）を図って、一層の情報提供に努めていかなければならない。

- ② 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル『高原の風』」を年3回町内全戸に配布していますが、読んでおられますか。



考察 多くの保護者にだいたい読んで頂いている肯定的回答は90%（昨年87%）で、「全く読んだことがない」は10%（昨年13%）とあまり大きな変化はない。ただ、小学校保護者と中学校保護者を比較した時、毎年10%ぐらい小学校が低いのは、関心度によるものと思われる。いずれにせよ、今後においても魅力ある中身づくりに努めていく必要がある。

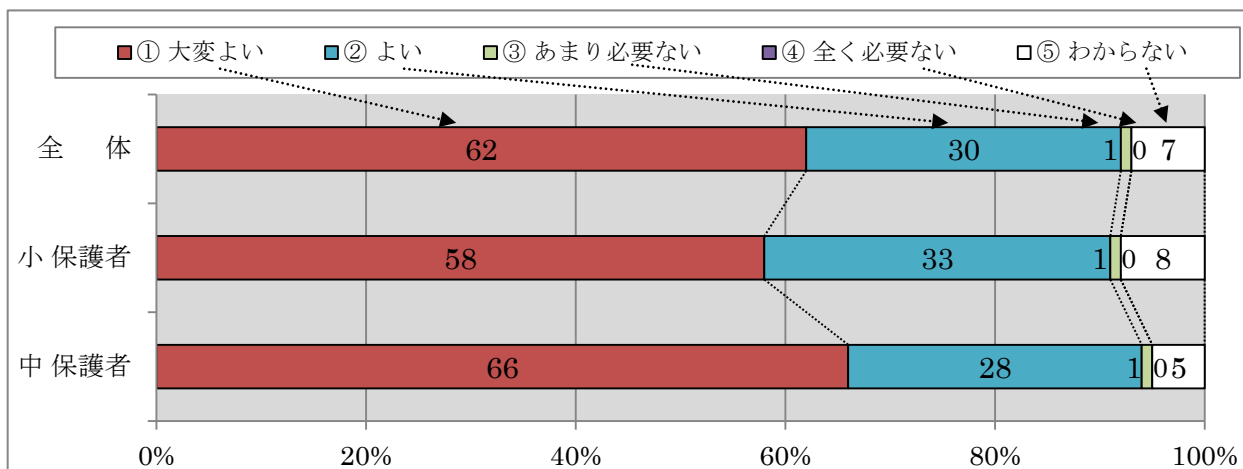
③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。



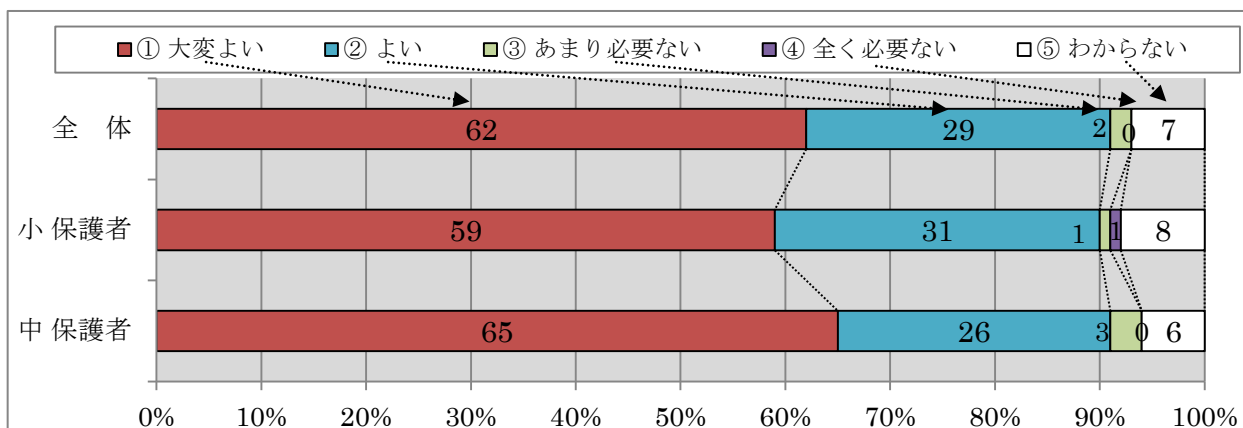
考察 全体としては、68%（昨年 69%、一昨年 58%）読まれており、「中高一貫教育ジャーナル 高原の風」よりも多くの保護者が読まれている。この「油木高校生への8つの支援」は、油木高校の一つの魅力でもあるので、関係保護者に知ってもらえるよう、今後もリーフレットの配布は継続し、尚且つ高校進路説明会などでも高校や町からのPRをしていく必要がある。

④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

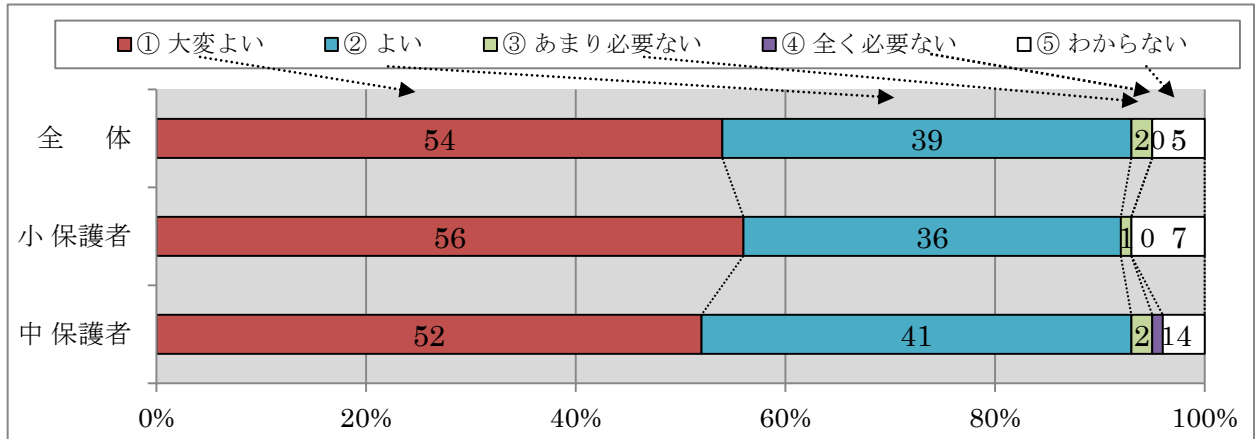
(1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。



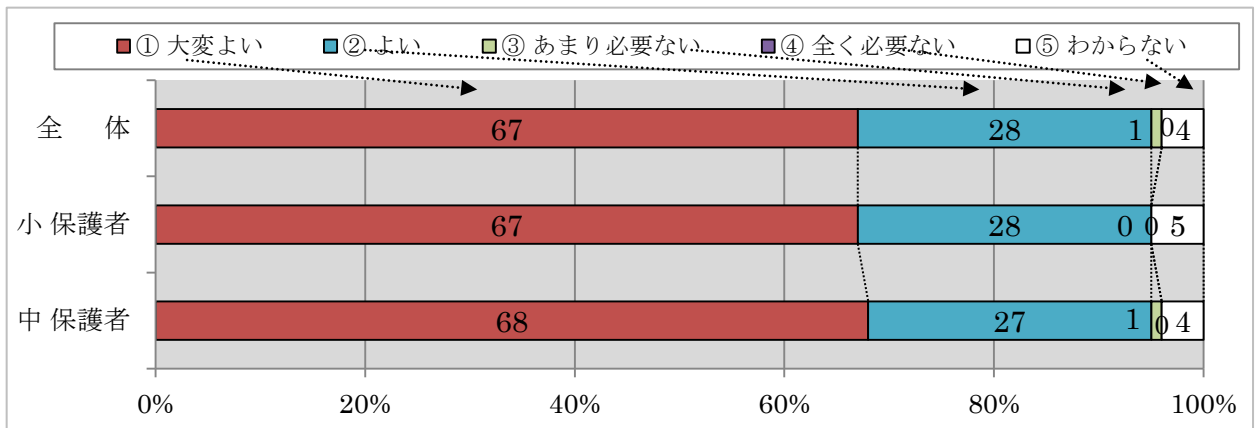
(2) 油木高校内での学習支援塾（はやぶさ塾・神ゼミ）の開設について、どう思いますか。



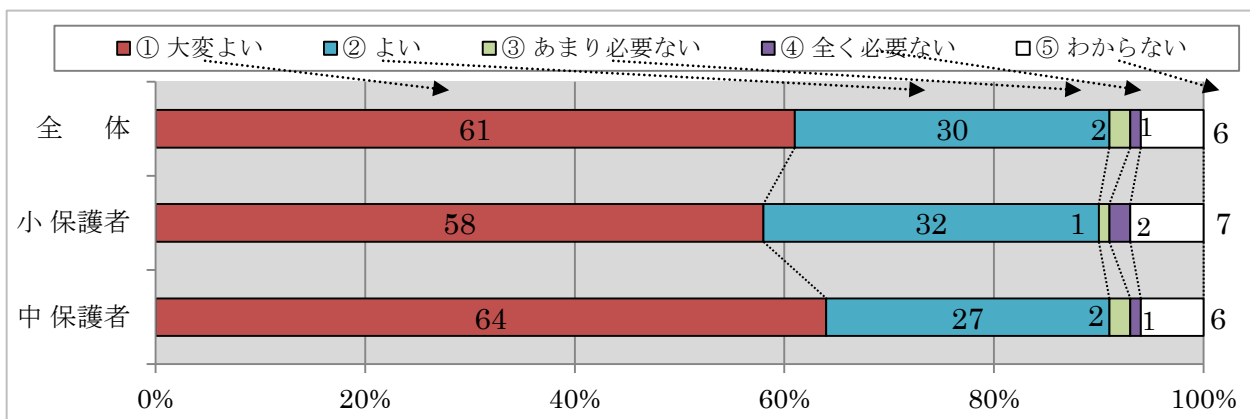
(3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。



(4) 各種検定受検料の補助（ただし合格者のみ）について、どう思いますか。



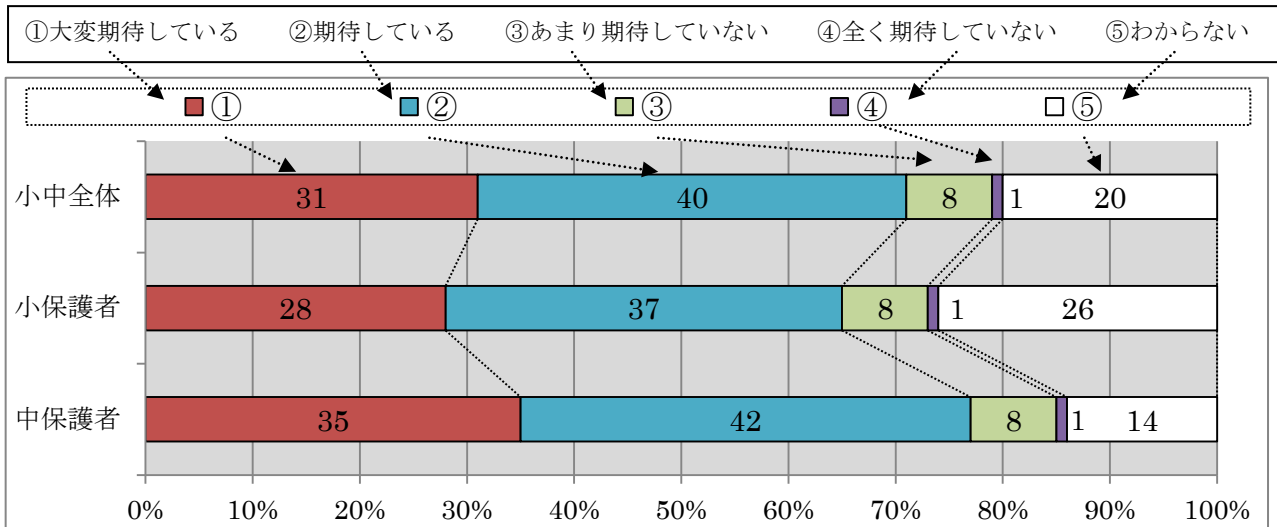
(5) 町外生徒へのバス定期券購入補助（令和4年度の町内生徒へは一乗車300円、1ヶ月定期券9,000円の補助）



考察・本年度もすべての項目で、90%以上が「大変よい・よい」の肯定的回答で、非常に高い評価を受けている。

- ・小、中学校別で見た時、あまり数値に大きな差（1～6%）はない。
- ・このように多くの項目において保護者の期待度が高いことがわかる。油木高校への進路選択の理由に「町の補助がある」傾向を上げておられる保護者も多い。（28ページ参照）それだけに、今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

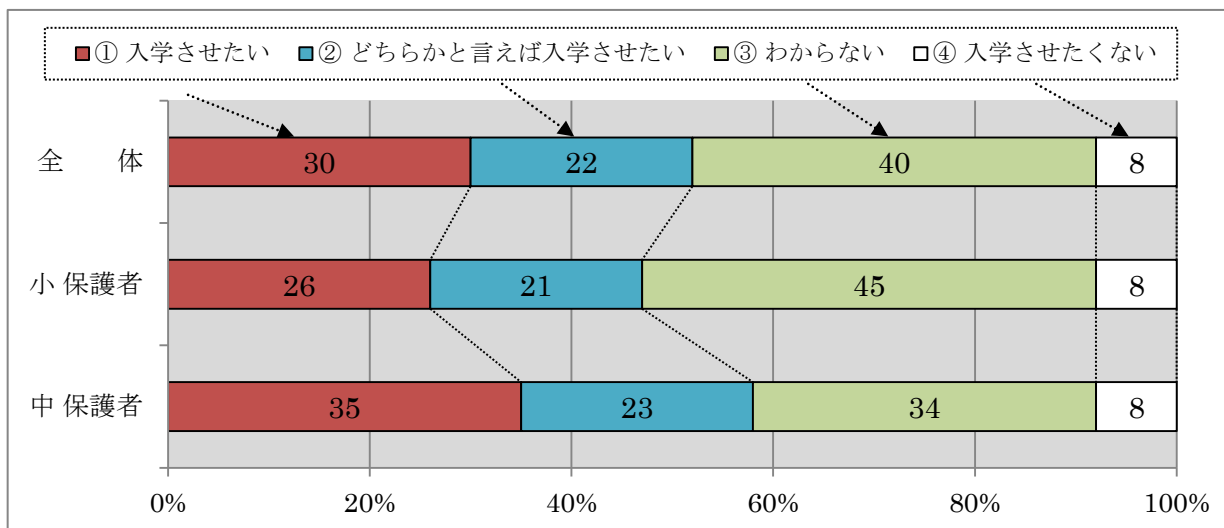
⑤ 本町では現在、慶應義塾大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化プロジェクト」に取り組み、具体策（総合学習のカリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を実施中ですが、この事業にどの程度期待感を持っておられますか。



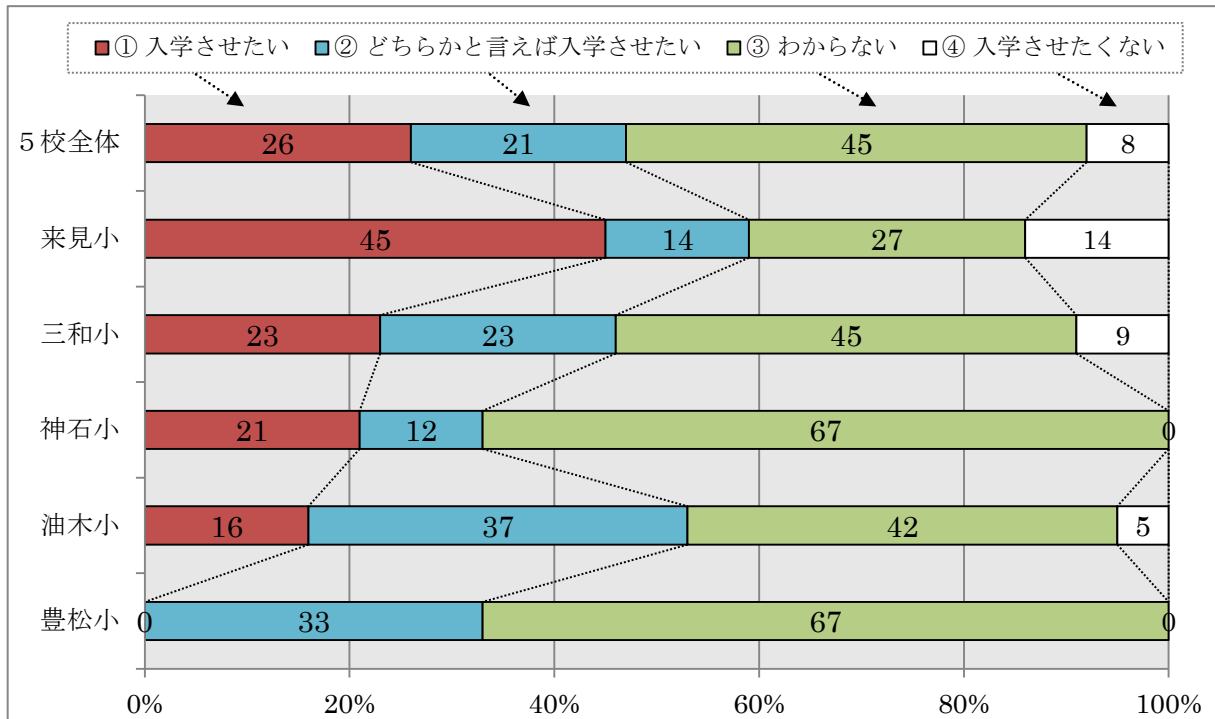
考察 ・小中の保護者全体では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が71%（昨年71%）と、昨年同様に高い評価である。

- ・小中保護者別でも、それぞれの回答数値にあまり大差はない。
- ・本事業の中身について、本年度も保護者に十分な情報提供や説明をすることができなかった中での数値だけに、重く受け止めていかなければならない。計画では、本年度こそ「中高一貫教育講演会」を開催し、(株)プリマペンギノに本事業の中身なり進捗状況について地域・保護者の方々にお話し頂く予定であったが、コロナの関係で実施することができなかった。
- ・本事業は地域創世のための「油木高校魅力づくり」で、「神石高原町の地域づくり」につながるものであるため、今後も地域・関係者等へ色々な形（情報紙、高校説明会等、ホームページ、講演会 など）で情報提供していく必要がある。

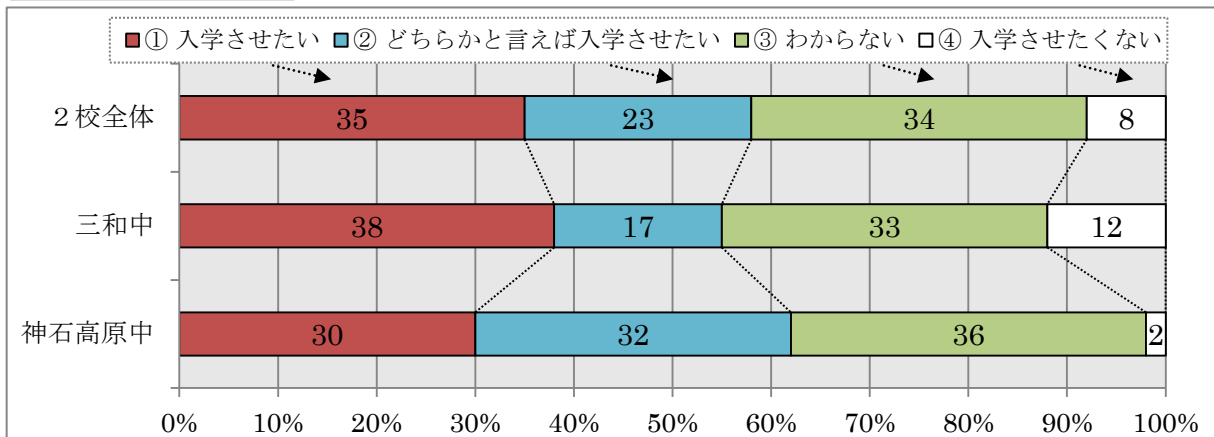
⑥ (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



＜各小学校別では＞



＜各中学校別では＞



考察 ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は52%（昨年53%、一昨年53%）で、前年とほぼ同じである。一方、「入学させたくない」は8%（昨年6%、一昨年8%）で、これもあまり大差はない。

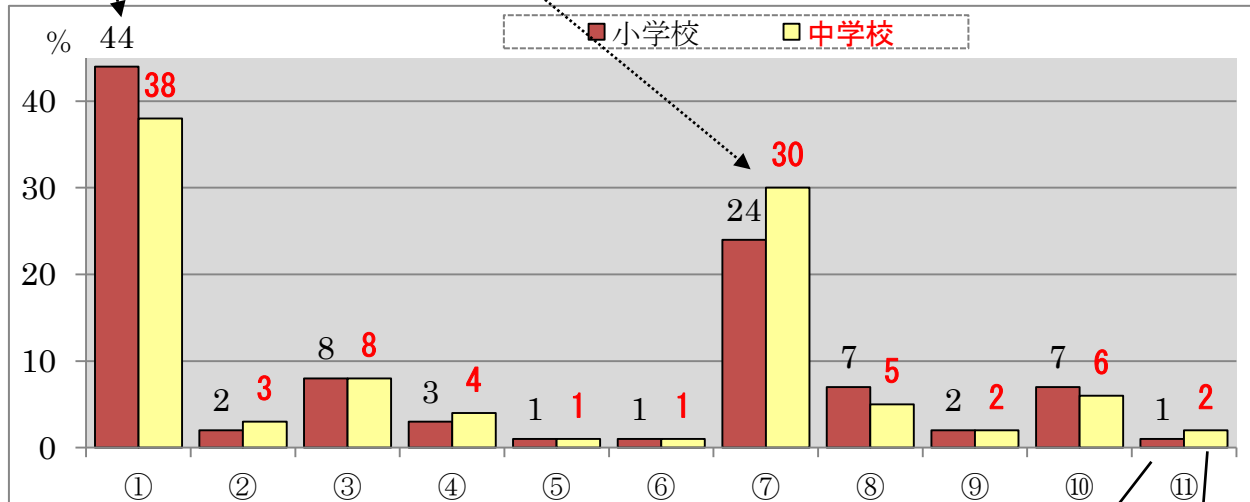
・小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多く、「わからない」は小学校の方が多い。他は小中共に同じくらいである。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。

・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が昨年度は4校であったが、本年度は2校（来見小学校59%、油木小学校53%）であった。

・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率は50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が30%台だけに、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思われるものを下の中から選んでください。(複数回答可)

- | | | | | |
|-----------|-------------------|-------------|----------|--------|
| ① 通学に便利 | ② 進路実績 | ③ 教育内容面 | ④ クラブ活動面 | ⑤ 寮がある |
| ⑥ 施設設備がよい | ⑦ 町の支援(公営塾、海外研修等) | ⑧ 学校や生徒の雰囲気 | | |
| ⑨ 家族等の薦め | ⑩ 友人関係 | ⑪ その他 | | |



⑪ その他(小学校)

- ・長女が油木高卒のため

⑪ その他(中学校)

- ・産業ビジネス科なら通ってくれそう
- ・本人の意志が強い
- ・人間関係の不安があるため
- ・長女が卒業生のため

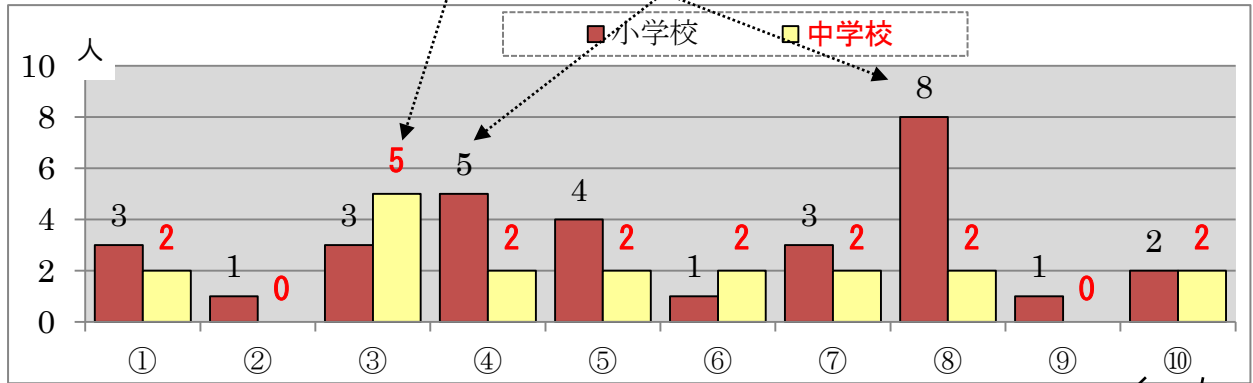
考察 ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が上がるように中身の充実を図っていかねばならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いが、アンケートの回答の中で、「油木高校へ行きたくない」理由(次ページ)として、バス便が少なくなったり、運賃の値上がりを不安視されている保護者が多かった。

これらのことから町としてできる支援策を今後においても検討しながら、油木高校の魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に○印をしてください。

- ① 通学の便 ② 伝統や校風 ③ 子ども本人の希望 ④ 学習環境面 ⑤ 教育内容面
 ⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



⑩ その他（小学校）

・バスが無くなってきている。バスも値上がりして町の税金の使い方がおかしい。 ・選択肢は多い方がよいから
 ・〇〇高校を予定しています。 ・校則が法律のような学校。 ・単位制なので

⑩ その他（中学校）

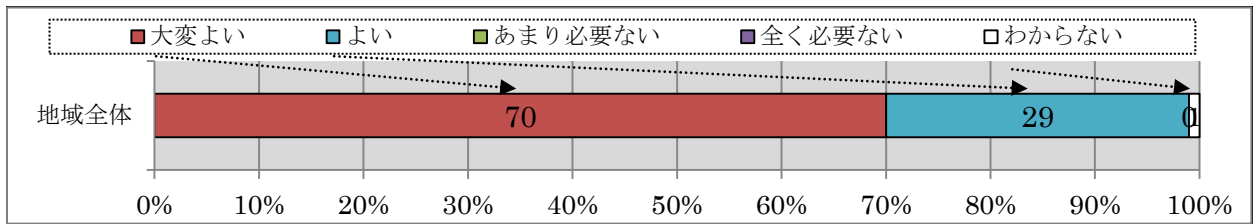
・バス代が上がると聞いたので魅力をあまり感じない。 ・選択肢は多い方がよいから ・バスがどんどん無くなっていくから（中バスが土曜日が廃止になっている便を復活させて欲しい。特に朝、土曜日部活に参加できない。 ・R5年4月、バス運賃が大幅に値上がりするのが非常に辛い。少しでも町から助成があれば助かるのですが。

考察 ・「油木高校へ入学させたくない」と答えられた方が高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、小学校保護者ではダントツに多いのが ⑧「進路実績」で、ついで ④「学習環境面」⑤「教育内容面」となっている。

一方、中学校保護者で最も多いのは ③「子ども本人の希望」で、その他はどの項目も極少数である。これらのことから、保護者の多くが「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、児童・生徒への油木高校の理解や関心を深めていく取組みが重要と思われる。

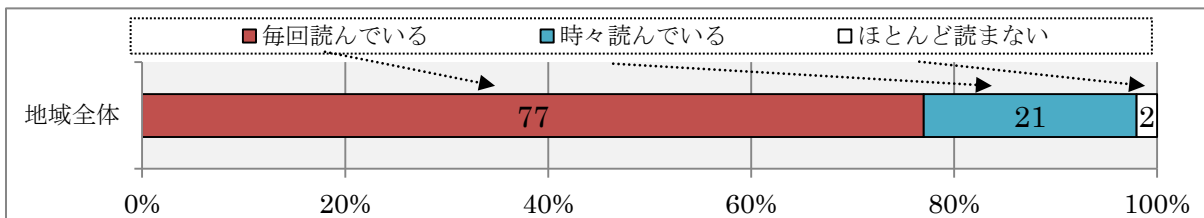
5. 町内地域に係るアンケート調査の結果と考察

- ① 現在、油木高校と町内中学校との連携教育（例：中高交流授業、部活動交流、学校行事への相互参加、教職員の交流など）が実施されていますが、そのことについてどう思いますか。



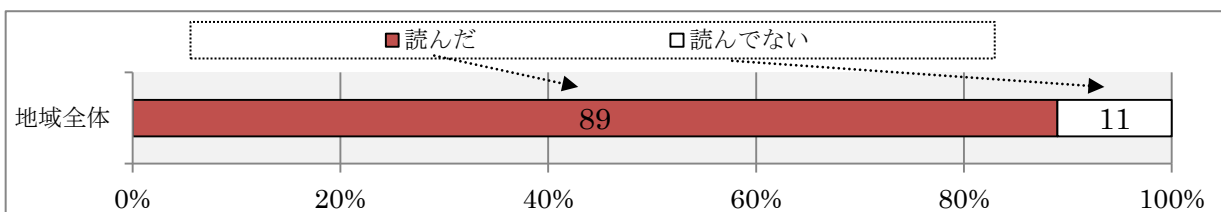
考察 地域のほとんどの方々（99%）は、中高連携教育を「大変よい・よい」とする肯定的回答で、「必要ない」との否定的回答は0%であったが、今後更なる中身の充実を図り、情報提供していく必要がある。

- ② 広報紙「連携型中高一貫教育」マガジ『高原の風』を年3回町内全戸に配布していますが、読まれていますか。



考察 「毎回読んでいる」が77%と前年度（65%）よりやや増加しており、多くの方々に読んで頂いている。今後一層「毎回読んでいる」が向上していくよう中身の充実にも努めていかなければならない。

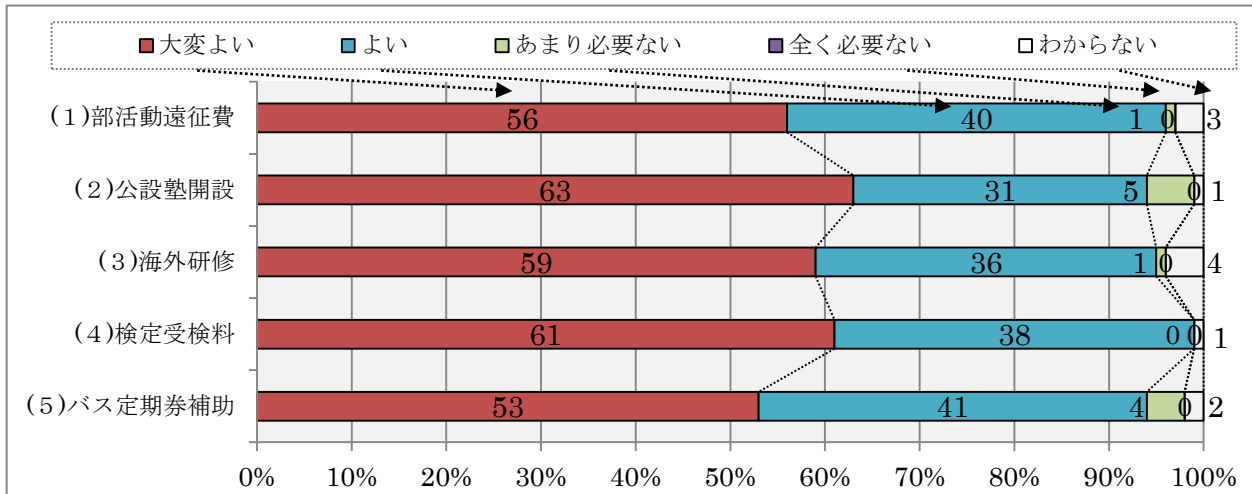
- ③ 昨年、町内全戸に配布した『神石高原町が実施している油木高校生への8つの支援』リーフレットを読まれましたか。



考察 本年度も多くの方々（89% 昨年：83%）に読んで頂いているが、この「8つの支援」は、油木高校の魅力でもあるので、地域の方々にもしっかりと知って頂き、地域の声も聞きながら検討していくためにも、リーフレットの配布は今後も継続していく必要がある。

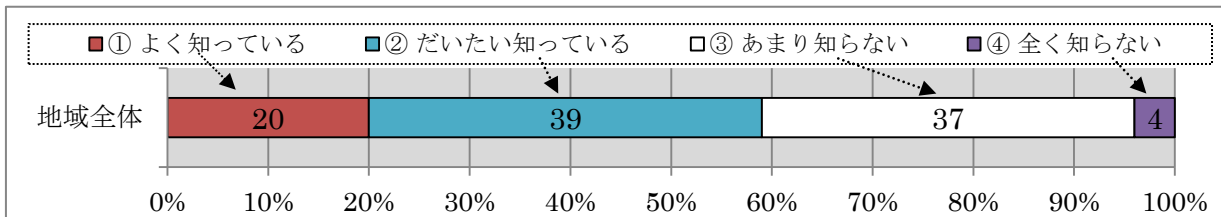
- ④ 本町が油木高校の魅力策として様々な教育支援を実施していますが、それらについて、次の質問にお答えください。

- (1) 部活動での遠征費補助について、どう思いますか。
- (2) 油木高校内での公設塾「はやぶさ塾・神ゼミ」の開設について、どう思いますか。
- (3) 海外（短期・長期）研修事業への支援について、どう思いますか。
- (4) 各種検定の受検料補助（合格者のみ）について、どう思いますか。
- (5) 町外生徒へのバス定期券購入補助（但し、町内生徒へは現在1乗車300円、1ヶ月定期9,000円の補助がある）について、どう思いますか。



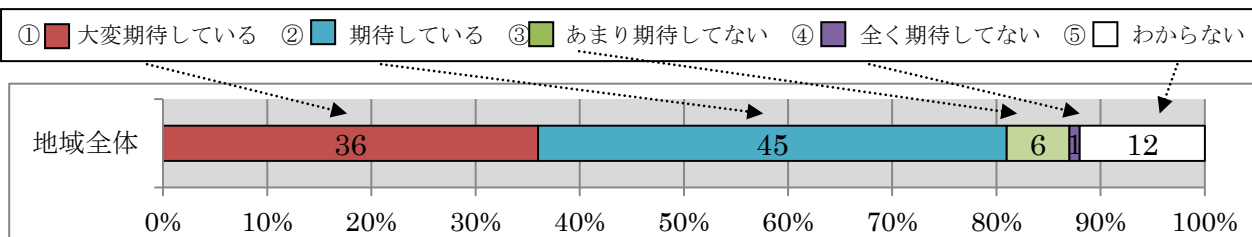
考察 各項目とも「大変よい・よい」を合わせて90%以上あり、肯定的回答が非常に多い。しかも「大変よい」がだいたい50%以上あり、最も多くを占めている。
この数値が示すように、地域住民の期待は大きいことから、今後もこれらの支援は継続していく必要がある。

⑤ 本町では現在、慶應大学との連携協力協定事業の一つとして「油木高校魅力化+プロジェクト」に取り組み、その具体策（総合学習のカリキュラム開発・放課後「神ゼミ」など）を検討し、実施しているところですが、その取組内容をご存じですか。



考察 「知っている・だいたい知っている」との肯定的回答は59%（昨年：52%）と約半数はおられるが、反対に「あまり知らない・全く知らない」が41%（昨年：48%）と約半数おられるので、広報紙や学校ホームページ、あるいは講演会等を実施して情報提供していく必要がある。

⑥ 「油木高校魅力化+プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」にその地域、学校でなければ学べない独自のカリキュラム開発に取り組み、地域と連携した「地域課題発見・解決型キャリア教育」を推進しているところですが、そのことにどの程度期待感をもっておられますか。



考察 ・地域全体では、「大変期待している・期待している」の肯定的回答が81%（昨年88%）と前年とほぼ同じぐらいである。これは、油木高校への期待度でもあるので、「油木高校魅力化+プロジェクト」の取組を一層充実させていく必要がある。また、取組内容や進捗状況を出来るだけ地域・関係者等へしっかりと情報提供（情報紙の配布、講演会や説明会等の実施、ホームページの掲載 など）していく必要がある。